

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 天守閣部会(第5回)

日時：平成29年8月29日(月) 10:30～13:00

場所：名古屋国際センター 第一会議室

会 議 次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 報告  
第23回特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議石垣部会の報告
- 4 議事
  - (1) 第4回天守閣部会における主な指摘事項と対応状況について
  - (2) 天守閣復元に係る基本計画書(案)について
    - ・構造計画について
- 5 その他
- 6 閉会

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 天守閣部会（第5回） 名簿

日時：平成29年8月29日（火）10:30～13:00

場所：名古屋国際センター 第一会議室

（敬称略）

■ 構成員

氏名	専門分野	所属等	出欠
小野 徹郎	建築学	名古屋工業大学名誉教授	出席
片岡 靖夫	建築学	中部大学名誉教授	出席
川地 正数	建築生産	川地建築設計室主宰	出席
瀬口 哲夫	近代建築史、まちづくり	名古屋市立大学名誉教授	出席
西形 達明	地盤工学	関西大学名誉教授	出席
麓 和善	建築史、文化財保存修理	名古屋工業大学大学院教授	出席
古阪 秀三	建築生産	立命館大学客員教授	出席
三浦 正幸	日本建築史、文化財学	広島大学大学院教授	出席

・ オブザーバー

氏名	所属等	出欠
洲崎 和宏	愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室室長補佐	欠席

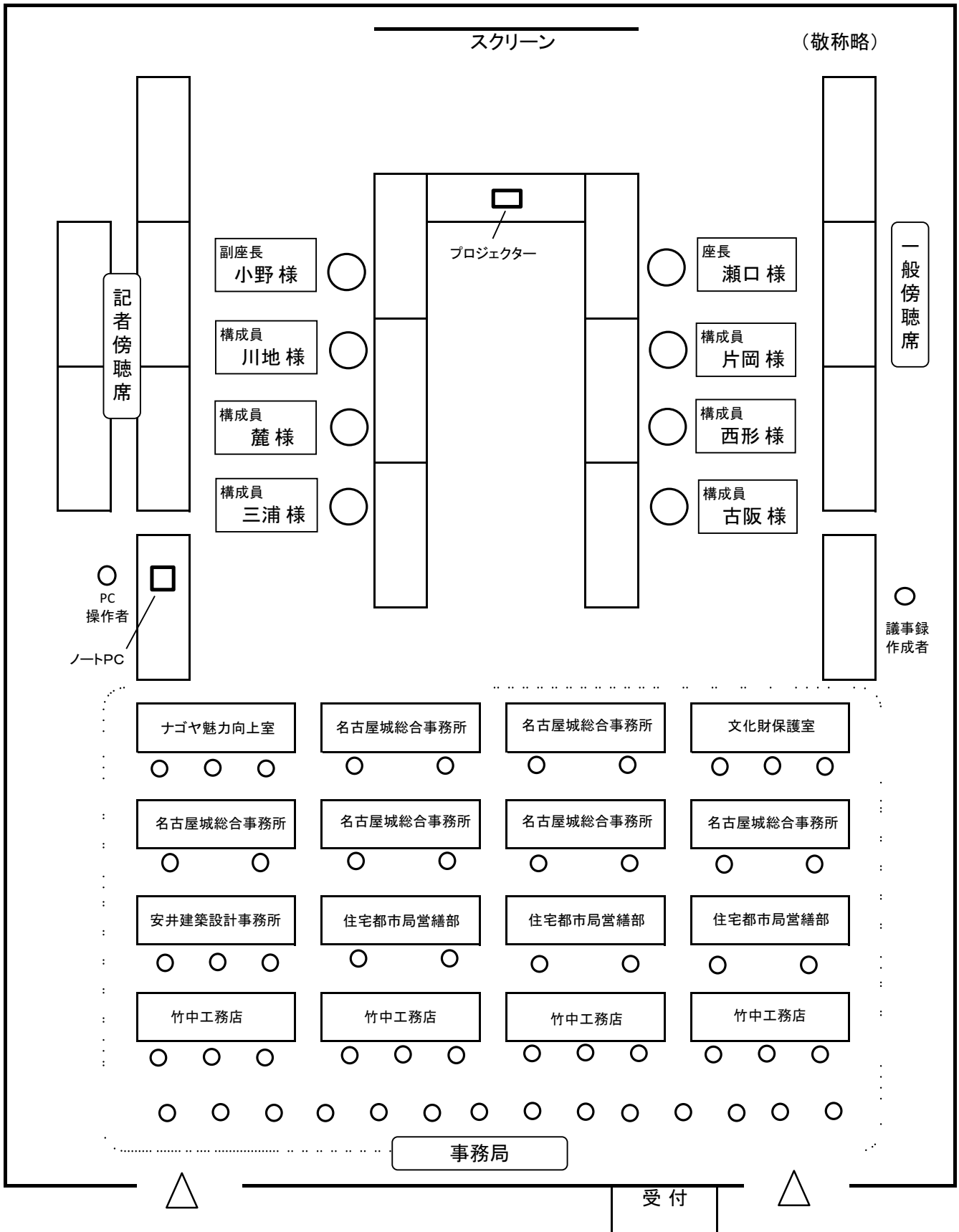
特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 天守閣部会(第5回)

座席表

平成29年8月29日(火)

10:30~

名古屋国際センター 第一会議室



## 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 石垣部会（第23回）について

開催日時：平成29年8月9日（水）14：00～16：00

出席者：石川県金沢城調査研究所・北垣名誉所長、  
愛知淑徳大学・赤羽非常勤講師、  
奈良大学・千田教授、  
佐賀大学・宮武教授

オブザーバー：文化庁文化財部記念物課・中井文化財調査官  
愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室

### 【議事】

天守台石垣調査について

- ・発掘調査の目的は、天守台で一番悪くなっている場所はどこであるのか見極めることであり、部会構成員が現地確認も含めて決めていかなければならないとの意見を頂いた。
- ・市の学芸員の体制について、石垣調査内容に合わせ、市が主体的に進めるための適正な人数を配置するべきとの意見を頂いた。

### 【その他】

#### 市長コメント

名古屋城の天守閣木造復元に関して、参議院文教科学委員会において現状変更許可にあたっては「現在の石垣の劣化状況等に関する現況調査を実施すること」「現在の天守の解体、除却工事が文化財である石垣に影響を与えない工法であり、その保存が確実に図られること」「木造天守の忠実な復元がなされるような具体的な計画内容であること」「木造復元に係る工事が文化財である石垣に影響を与えない工法であり、その保存が確実に図られること」などが必要であるとの発言がありました。

私といたしましては、特別史跡である石垣をしっかりと保全していくことも重要であると認識しておりますので、石垣部会の構成員皆様方のご意見を伺いながら、文化庁が指摘しているような石垣の保全について対応していきたいと考えております。どうぞよろしくご審議をいただきますよう、お願いいたします。



## 1-1 天守台石垣の検証

### (1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

- ・創建から現状まで1～7の時期に分け、事実上の石垣修理の履歴とその根拠資料となる史料についての概要を示す。（詳細と参考文献は次ページ以降に示す）

#### 1. 江戸期：創建時 慶長15年（1610）～ 宝暦の大修理まで

- ・天守台石垣の普請は、慶長15年（1610）6月より根石置きが始まり、8月には天守台の石垣が完成、9月には本丸、二之丸、西之丸、御深井丸の石垣がおおよそ完成したとされている。

#### 2. 江戸期：宝暦の大修理 宝暦2年～宝暦5年（1752～1757）～ 幕末

- ・天守台石垣のはらみ出しと沈下が著しくなったため、宝暦2年（1752）に石垣の解体修理を伴う天守の大修理が行われた。この「宝暦の大修理」は宝暦5年（1757）までの4年間に行われ、石垣については主に北面と西面の大部分で解体・積み直しが行われた。
- ・その後幕末までの修理履歴で、天守台石垣について記載のあるものは確認できていない。
- ・宝暦の大修理以降の260年間は比較的安定を保っている。参考文献 ※3)

#### 3. 明治期から昭和（焼失前）

- ・明治以降も、当時の管理者である陸軍や宮内省によって名古屋城の石垣の修復工事が行われたが、記録が少なく、天守台石垣については不明な部分が多い。
- ・濃尾大地震の被害 明治24年（1891）：天守台石垣についての大きな被害の記録はない。

#### 4. 昭和期：戦災による焼失 昭和20年（1945）～ 積換工事前 昭和27年（1952）

- ・昭和20年（1945）5月14日の空襲により天守が焼失し、火災による被熱のため、石垣も損傷した。

#### 5. 昭和期：石垣積換工事着手 昭和27年（1952）～ 天守閣再建工事着手前 昭和32年（1957）

- ・焼けただけ支持力を失い年とともに崩壊が進んでいた内部石垣をそのまま放置すると、さらに崩壊が進み、外側の石垣の崩壊も恐れが出てきた。昭和25年に内側の石垣積替え工事の国庫補助金の申請を提出した。施工は昭和27年度から30年度の数回に分け実施されている。

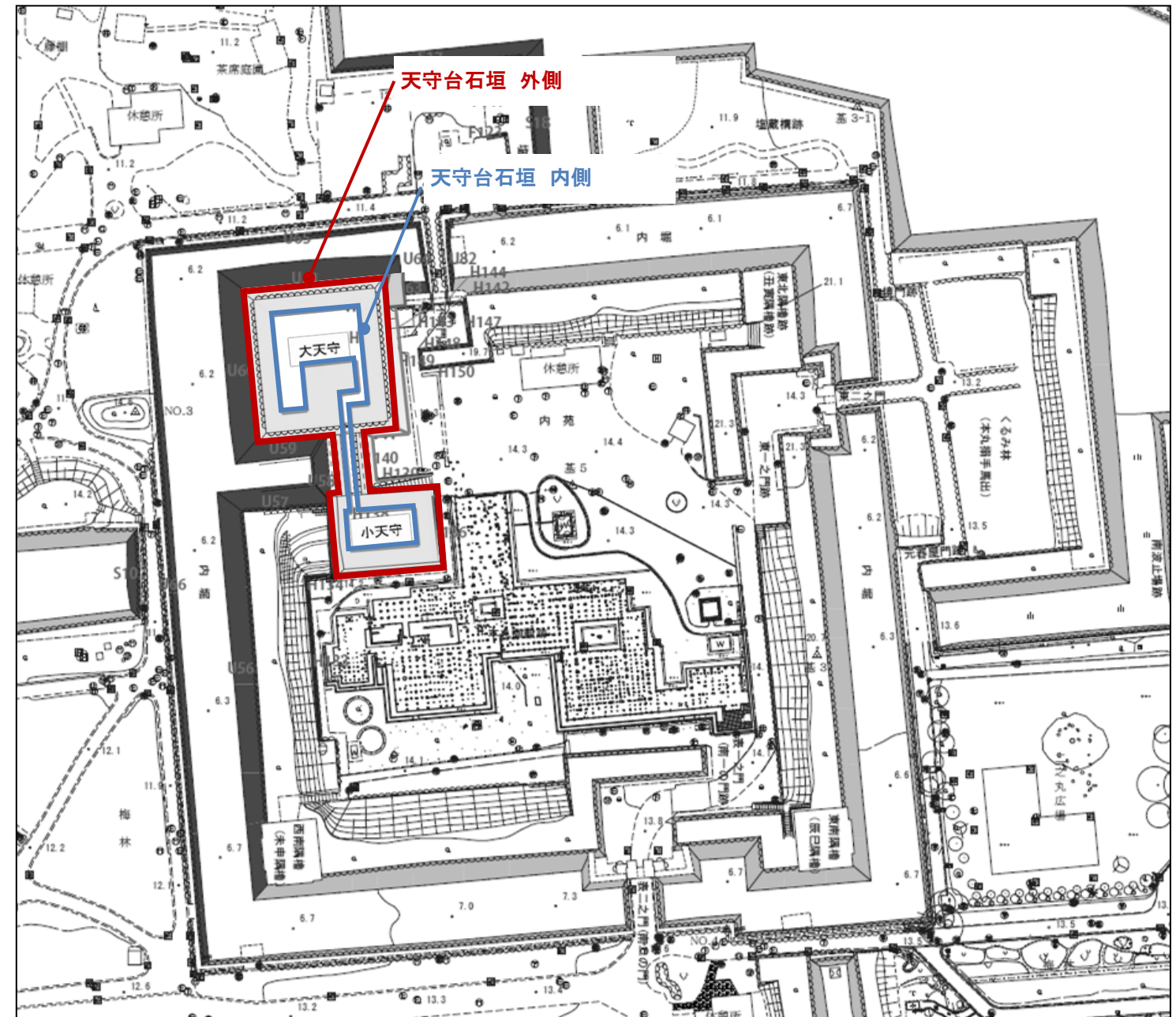
#### 6. 昭和期：天守閣再建（SRC造）工事 昭和32年（1957）～昭和34年（1959）

- ・天守の基礎、ケーソン沈設工事に伴い、石垣についても内外とも一部積み直しが行われている。

#### 7. 昭和～平成期：天守閣再建後 昭和34年（1959）～ 平成29年（2017）現在

- ・天守台石垣の修理履歴はない。

現状の名古屋城石垣配置図



名古屋城天守台石垣の配置(外側・内側) 名古屋市提供配置図に竹中工務店加筆

1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

修理履歴の年表(本丸エリア 天守台を含む)

建造物の修理で石垣を修理した可能性があるものを含む。

西暦	和暦	出来事	城・石垣修理歴			備考
			築城・修理場所	石垣部位	原因	
1610	慶長15年	名古屋城築城	名古屋城縄張決定 石垣根石置き始まる 加藤清正、天守台を完成させる	石垣全体 石垣全体 天守台		
1614	慶長19年		天守の北東側石垣修理	天守北東側石垣	暴風雨	福島正則、同年9月21日から修復。
1662	寛文2年		石垣修復(場所不明)	不明	地震	
1669	寛文9年		大天守、壁、屋根修理。	大天守石垣も修理か？		
1682	天和2年		本丸惣構東北隅石垣修復	本丸惣構東北隅	不明	東馬出東北隅の修補か
1694	元禄7年		西北隅櫓三層南妻小屋修理	西北隅櫓		
			西鉄門橋台南壁面石垣修復	西鉄門橋台南壁面	雨	
1708	宝永5年		①本丸天守東高塀土台際石垣裏留石開修復	本丸天守東高塀土台際	不明	抜け
			②本丸南一之門外西台石孕修復	本丸南一之門	不明	孕み
			③西之丸升形西方石垣内外孕修復	西之丸升形西方	不明	孕み
1709	宝永6年		大天守壁回り修理	大天守石垣も修理か？	不明	
1710	宝永7年		本丸東南隅櫓修理	東南隅櫓石垣修理か？	不明	
1727	享保12年		①本丸東方多聞下石垣修復		不明	孕み・崩れ
			②本丸東北方多聞下石垣修復	本丸東北方多聞下	不明	孕み・崩れ
			③本丸東北方続多聞下石垣折廻修復		不明	孕み・崩れ
1730	享保15年		大天守屋根・壁修理、金鯱に鳥除取り付け	大天守石垣も修理か？	不明	
1734	享保19年		大天守壁回り修理	大天守石垣も修理か？	不明	
1752	宝暦2年	宝暦の大修理	天守修理、瓦葺から胴瓦葺へ、 天守台石垣修復	天守台	沈下か	
1753	宝暦3年					
1754	宝暦4年					
1755	宝暦5年					
1819	文政2年		本丸東門升形北西部石垣孕み修復	本丸東門升形北西部	地震	孕み

西暦	和暦	出来事	城・石垣建築・修理歴			備考
			築城・修理場所	石垣部位	原因	
1891	明治24年	濃尾大地震	本丸石垣西南壁石垣修復	本丸石垣西南壁	地震	※1
			南門升形北壁石垣修復	南門升形北壁	地震	
1910	明治43年		江戸(東京)城蓮池門を移築			
1911	明治44年		蓮池門を移設の際、升形の北側石垣を現在位置へ移す	正門升形北側	蓮池門移設	
1923	大正12年		西南隅櫓修理工事終了	西南隅櫓石垣積直し 大正10年 ※2)	暴風雨	大正10年の暴風で崩壊の可能性 ※2)
1945	昭和20年	空襲により名古屋城焼失	5月14日天守・本丸御殿等国宝指定建造物24棟中20棟焼失			
1951	昭和26年		東南隅櫓解体修理	東南隅櫓石垣も修理？	戦災	
1952	昭和27年	特別史跡名古屋城跡指定	天守台橋台部石垣修理	天守台橋台石垣		昭和実測図279枚完成。
			東南隅櫓解体修理完了		戦災	
1953	昭和28年	名勝名古屋城二之丸庭園指定	天守台穴蔵部石垣修理	大天守、小天守穴蔵部石垣	戦災	
1954	昭和29年		天守台穴蔵部石垣修理	大天守穴蔵部石垣	戦災	
1955	昭和30年	本丸御殿障壁画132面、重要文化財指定	天守台穴蔵部石垣修理	大天守穴蔵部石垣	戦災	
1957	昭和32年		天守再建工事着手	天守台石垣一部積み替え	再建工事	
1959	昭和34年		再建天守完成			
1962	昭和37年		西北隅櫓解体工事	西北隅櫓	解体工事	
1965	昭和40年		西北隅櫓解体工事完了			
2010	平成22年		西南隅櫓修復工事	西南隅櫓	修理	
2014	平成26年		西南隅櫓修復工事完了			

参考文献

・城戸久・田中一松 1953『名古屋城上・中・下』名古屋市  
 ・名古屋城管理事務所 1956 名古屋城天守閣跡石垣積替工事写真帖  
 ・名古屋市教育委員会 1965-67『名古屋城叢書続編13~16金城温古録(1)~(4)』

・新修名古屋市史編集委員会編 1999『新修 名古屋市史』  
 ・麓和善・加藤由香 2009「名古屋城大天守宝暦大修理に関する史料と修理計画について」『日本建築学会計画系論文集』638

※1 辛卯震災録、愛知県大震災録、濃尾地震文献目録  
 ※2 『重要文化財名古屋城西南隅櫓保存修理工事報告書』名古屋市 平成27年

1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

1. 江戸期：創建時 慶長15年（1610）

～ 宝暦の大修理まで

記録では、天守台石垣の普請は慶長15年（1610）6月より根石置きが始まり、8月には天守台の石垣が完成、したとされている。

■史料について

創建時の経緯と資料については、参考文献※1）内藤昌氏の研究に詳しい。

■写真について

幕末から昭和20年天守焼失前に撮影された写真は創建時又は宝暦の大修理後の姿を写していると考えられる。石垣外部の写真は多数存在するが、穴蔵内部の石垣が写されているのは2枚のみ。

■創建時 計画・構築時の変更について

慶長14年の計画からから20年の天守の完成までの間に、数度にわたり石垣の位置が変わる計画変更が行われている。参考文献※1）下記の痕跡が、現存する石垣に残っていると考えられる。

- ①大天守 西側石垣の「切抜」
- ②大天守 西側内堀の地中内に石垣下部構造の痕跡
- ③小天守 西側の出入り口の痕跡

参考文献：※1）内藤昌編『日本名城集成 名古屋城』小学館 1985年

1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

■焼失前の石垣外部が写されている写真の例



出典：『レンズが撮られた 幕末日本の城』山川出版社  
「北から見た天守」（長崎大学付属図書館蔵）



出典：名古屋城総合事務所蔵 ガラス乾板写真  
「小天守閣(焼失)南面」



出典：『日本建築史基礎資料集成 十四 城郭Ⅰ』  
太田博太郎 中央公論美術出版

■焼失前の穴蔵内部の石垣が写されている写真（確認できている写真の全て）



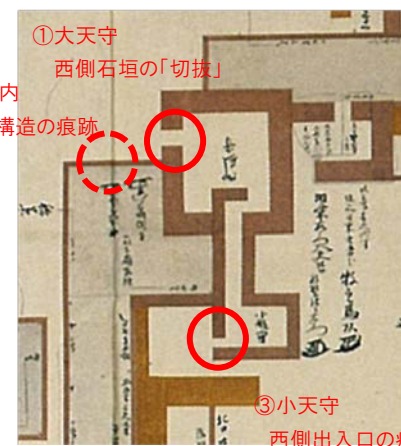
出典：名古屋城総合事務所蔵 ガラス乾板写真  
「天守閣地階入口(焼失)内側」



出典：名古屋城総合事務所蔵 ガラス乾板写真  
「天守閣地階内南側窓(焼失)」（床際に石垣が見える）

■計画・構築時の変更の痕跡

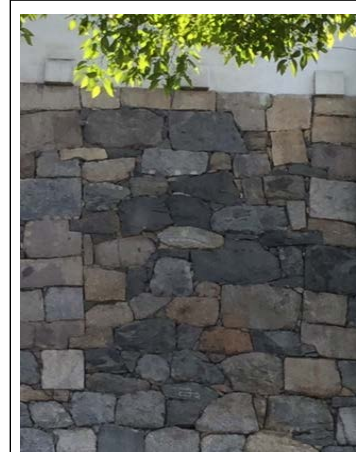
創建時の計画図



- ①大天守 西側石垣の「切抜」
- ②堀の地中内 石垣下部構造の痕跡
- ③小天守 西側出入口の痕跡

出典：内藤晶『日本名城集成 名古屋城』小学館  
「名古屋城普請町場請取絵図」（宮内庁書陵部蔵）  
を拡大 赤字は竹中工務店が追記

①大天守 西側石垣の「切抜」



外側 現状



内側 昭和30年度 積換工事前



内側 昭和30年度 積換工事後

名古屋城管理事務所蔵

「昭和31年3月竣工 名古屋城天守閣跡 石垣積替工事写真帖」

※内側は現状 コンクリート壁の裏になり確認できない

③小天守 西側の出入口の痕跡



『名古屋城改築工程写真』

名古屋市政資料館蔵

※内側は現状 凹んだ状態だが写真の形状とは異なる。



1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

2. 江戸期：宝暦の大修理

宝暦2年～宝暦5年（1752～1757）～ 幕末

天守台石垣のはらみ出しと沈下が著しくなったため、宝暦2年（1752年）に石垣の解体修理を伴う天守の大修理が行われた。この「宝暦の大修理」は宝暦5年（1757年）までの4年間に行われ、石垣については主に北面と西面の大部分で解体・積み直しが行われた。（工事の詳細については下記参考文献 ※1）による

その後幕末までの修理履歴で、天守台石垣について記載のあるものは確認できていない。

宝暦の大修理以降現在までの260年間は比較的安定を保っている。参考文献 ※3)

■史料について

参考文献 ※1) に「御天守御石垣取解築方起指図」他宝暦大修理に関する石垣工事に関する主な史料が記載されている。

■参考文献

※1) 麓和善 加藤由香  
「名古屋城大天守宝暦大修理における石垣工事について」  
『日本建築学会計画系論文集 第74巻 第645号』  
2009年11月

※2) 内藤昌編  
『日本名城集成 名古屋城』 小学館刊 1985年

※3) 西田一彦  
「名古屋城天守台石垣の修復と形態・構造の変遷」  
2014年第34回土木史研究発表会 P.18

1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

■宝暦の大修理 積み直し範囲図

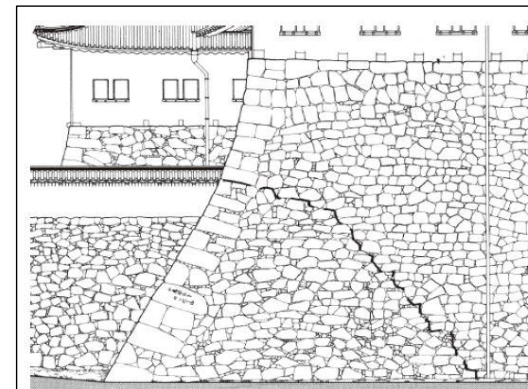
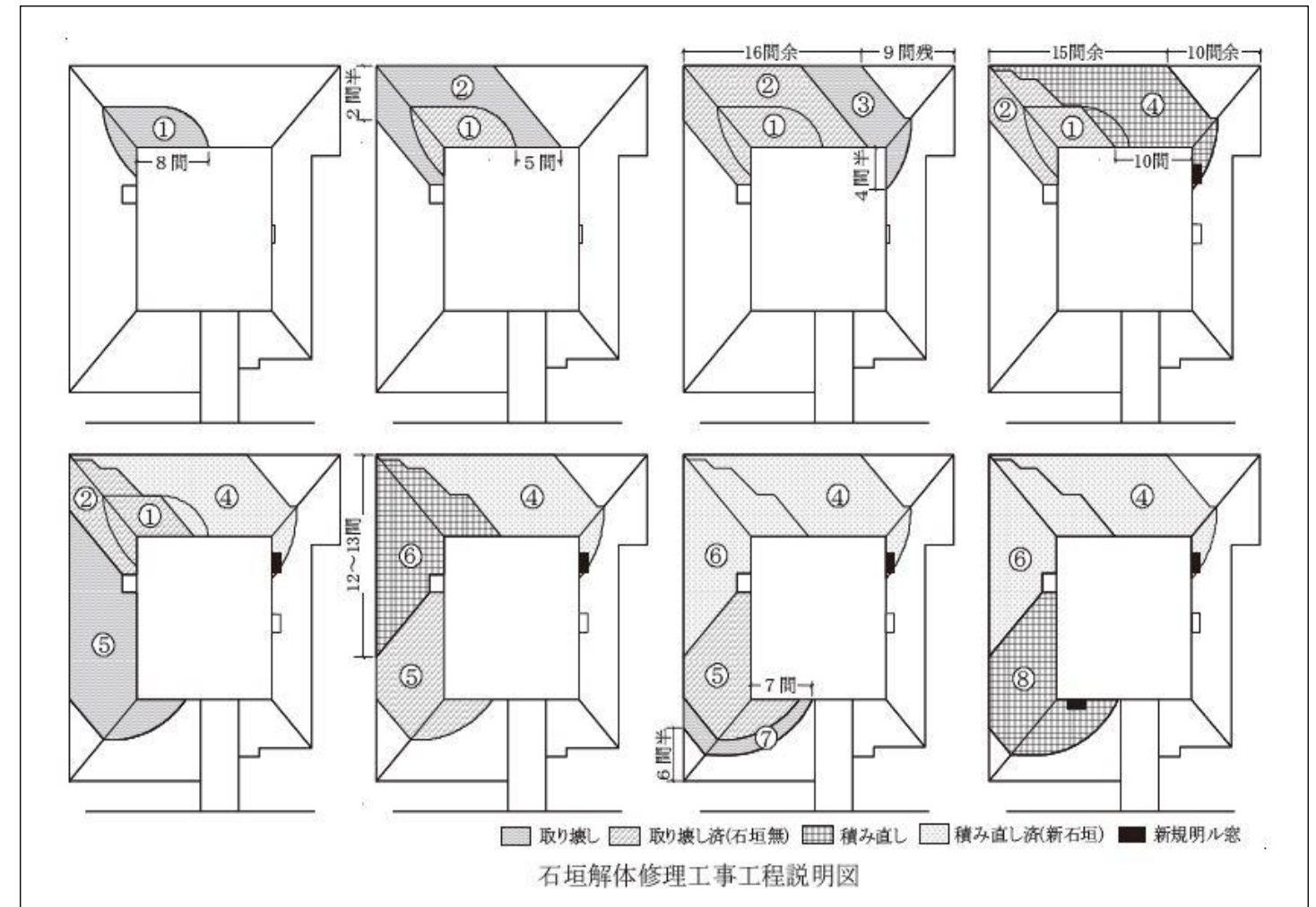


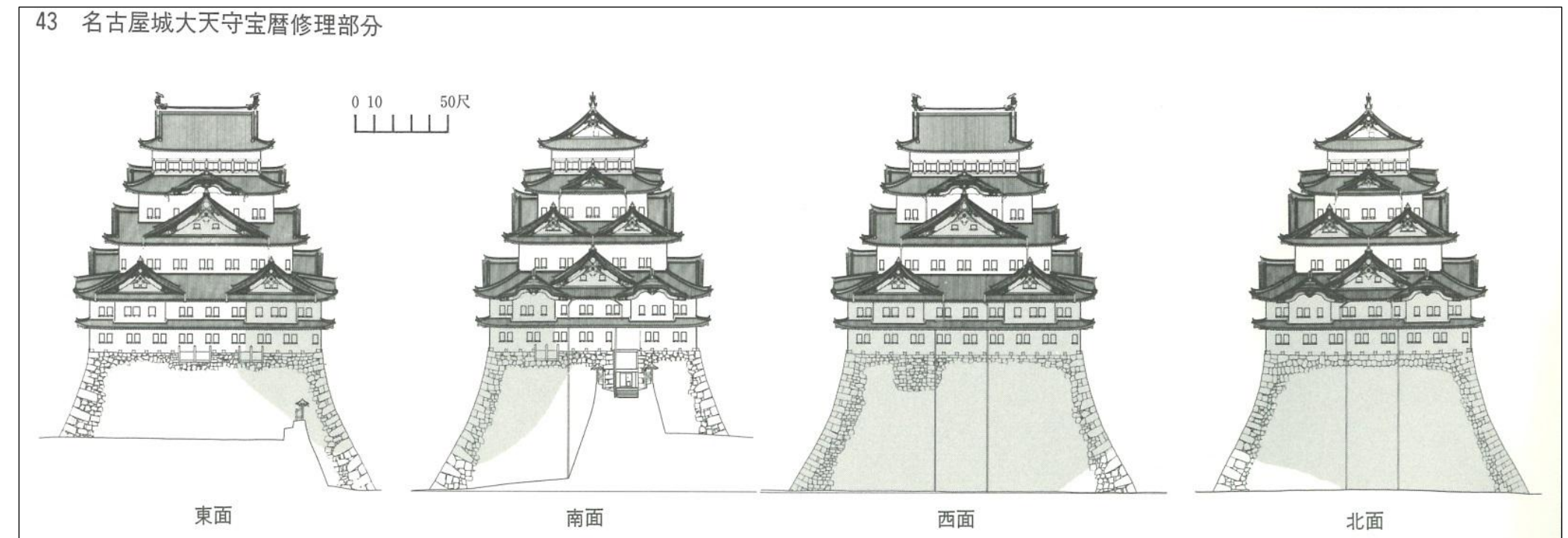
図10 天守台北面東側立面図（『日本名城集成 名古屋城』（注2）所収立面図を加工）破線を境に左側（慶長期）と右側（宝暦期）で石積み異なる

・出典：麓和善 加藤由香「名古屋城大天守宝暦大修理における石垣工事について」『日本建築学会計画系論文集 第74巻 第645号』2009年11月



石垣解体修理工事工程説明図  
・出典：麓和善 加藤由香「名古屋城大天守宝暦大修理における石垣工事について」  
『日本建築学会計画系論文集 第74巻 第645号』2009年11月

43 名古屋城大天守宝暦修理部分



・出典：内藤昌編『日本名城集成 名古屋城』小学館刊 1985年

1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

3. 明治期～焼失前の状況

- ・宝暦の大修理以降現在までの260年間は比較的安定を保っている。 ※1)
- ・明治以降も、当時の管理者である陸軍や宮内省によって石垣の修復工事が行われたが、記録が少なく、不明な部分が多い。
- ・濃尾大地震の被害 明治24年(1891)：天守台石垣についての大きな被害の記録はない。

※1) 西田一彦

「名古屋城天守台石垣の修復と形態・構造の変遷」  
2014年第34回土木史研究発表会 P.18

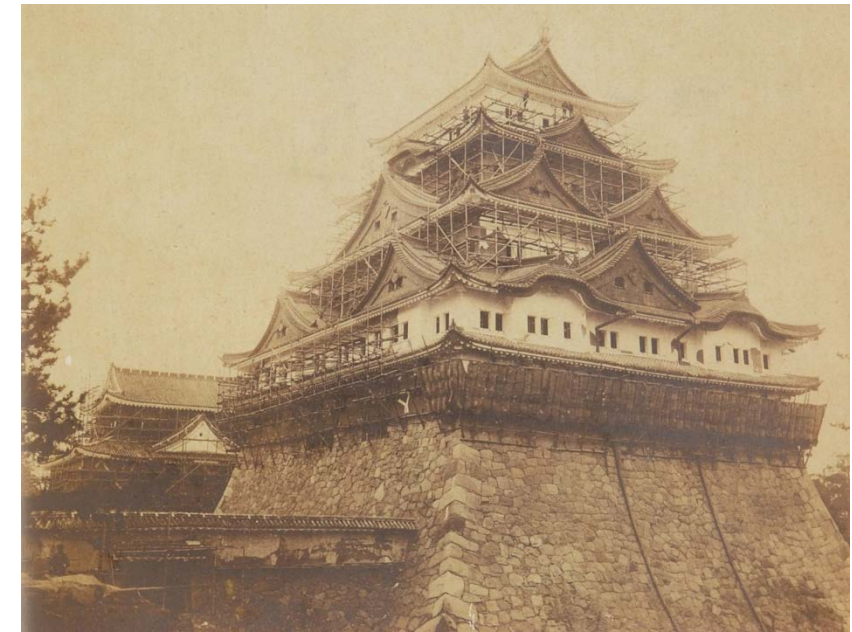
1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

■写真による濃尾大地震の被害損傷状況

- ・名古屋城総合事務所編集『描かれた名古屋城、写された名古屋城』  
名古屋城特別展開催委員会発行  
宮内庁所蔵宮内公文書館所蔵 明治25年 宮内省匠寮・青山三郎撮影



- ・小天守西側石垣の内堀部にはらみだしが発生し、積替え工事を行っている。
- ・小天守株直下の石垣の損傷は撮影されていないので確認できない
- ・大天守の天守台石垣 南面、西面には損傷は確認できない



- ・大天守の天守台石垣 北面、東面には損傷は確認できない

1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

4. 昭和期：戦災による焼失 昭和20年（1945）  
～ 積換工事前 昭和27年（1952）

昭和20年（1945）5月14日の空襲により天守が焼失し、火災による被熱のため、石垣も損傷した。

■資料について

損傷状況については、下記の写真資料で確認できる。

- ・新聞掲載の写真
- ・新聞掲載用に撮影され新聞には未掲載の写真
- ・名古屋城管理事務所所蔵の「昭和三十一年三月竣功 名古屋城天守閣跡 石垣積替工事写真帖」

また新聞記事には、穴蔵内側の石垣が、崩壊の恐れがあることを報告している。

■写真から分かること

- ①撮影されている範囲に限ると、穴蔵の内側の石垣と、出入口・明り取り等の開口部の外周部はすべて、焼損し丸みを帯びていることが分かる。
- ②櫓形、開口部周りの角に崩壊している部分がある。
- ③大天守西側の北側よりには慶長の創建時の計画変更の跡と考えられる「切抜」の痕跡がある。

1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

■写真による損傷状況

- ・新聞掲載の写真
- ・新聞掲載用に撮影され新聞には未掲載の写真



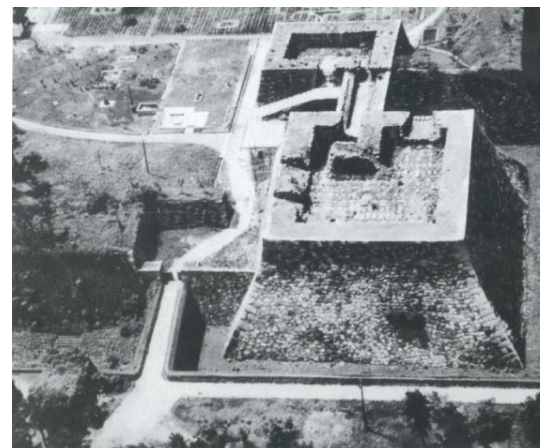
出典：名古屋タイムズアーカイブズ委員会 所蔵  
写真裏書  
「崩壊寸前の名古屋城大天守の内側 280110」



出典：中日新聞 所蔵  
「名古屋城の石垣壊れる 崩れかかった  
名古屋城本丸石垣」



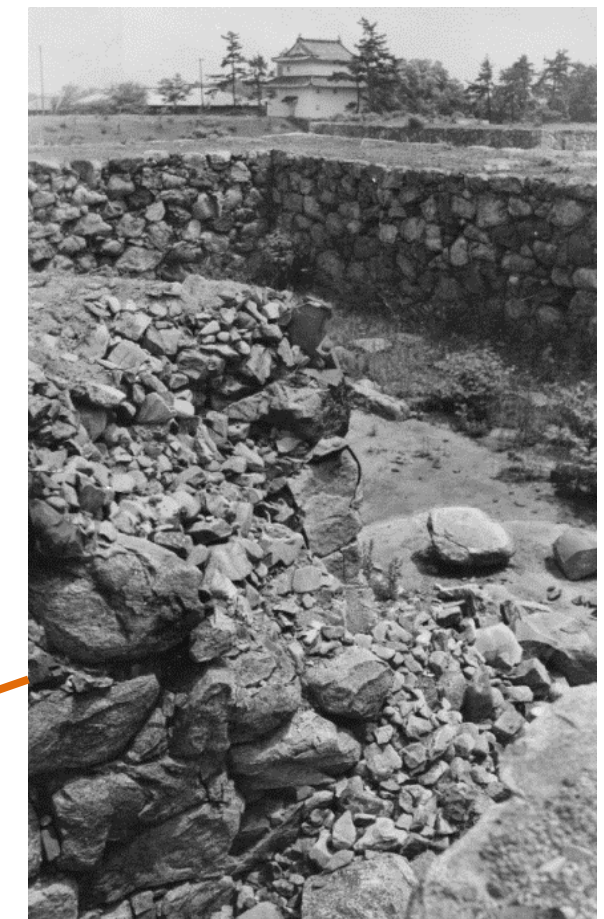
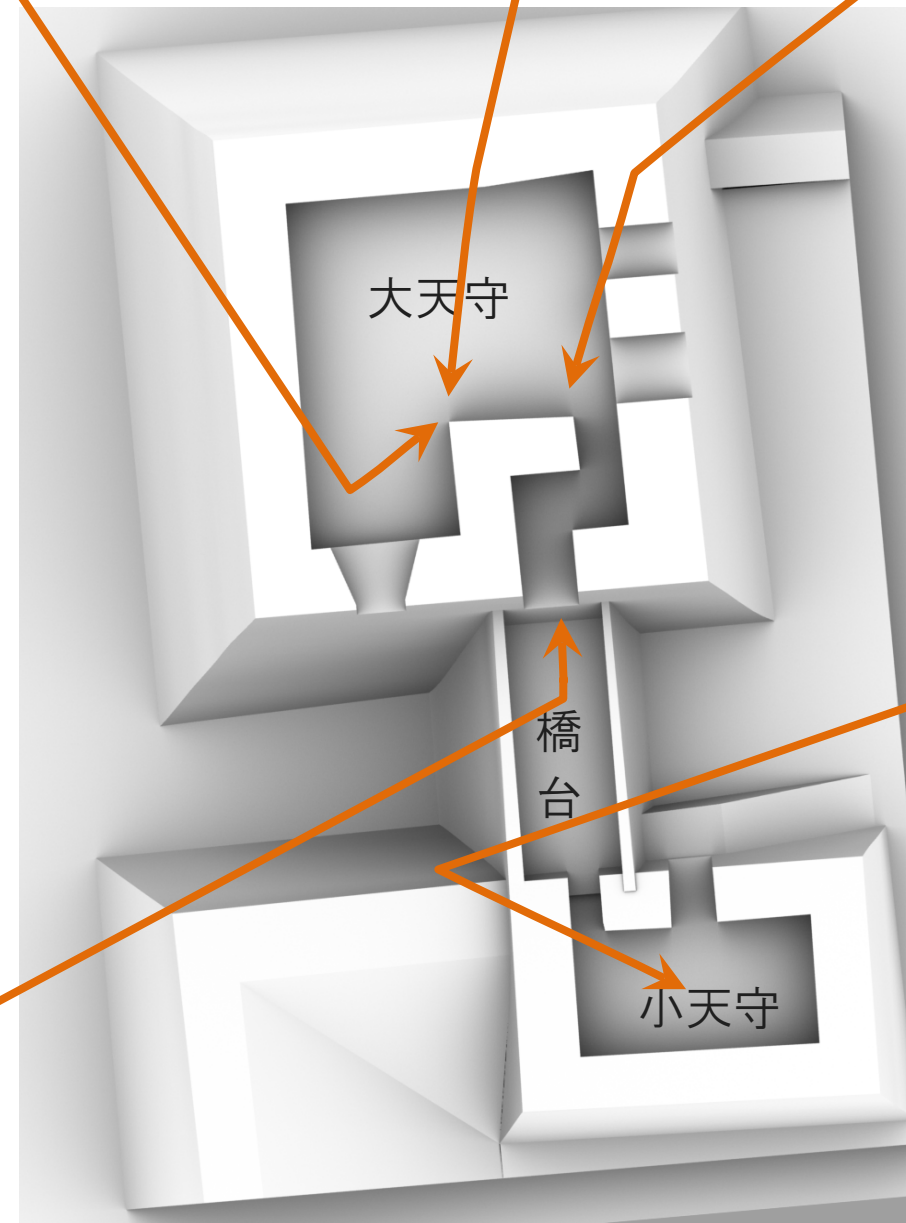
出典：名古屋タイムズアーカイブズ委員会 所蔵  
写真裏書「名城 朽ちゆく名城の石垣 260621」



出典：名古屋城特別展開催委員会『名古屋城特別展  
描かれた名古屋城 写された名古屋城』平成28年  
p.132 参考-写真「戦災焼失後の天守台」名古屋城所蔵



出典：名古屋タイムズアーカイブズ委員会 所蔵  
写真裏書「名城の石垣 26.6.21」



出典：名古屋タイムズアーカイブズ委員会 所蔵  
写真裏書「名古屋城 黄金水も石垣も修復とは掛け声  
ばかり やけて今日丸五年 240515」

1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

4. 昭和期：戦災による焼失 昭和20年（1945）  
～ 積換工事前 昭和27年（1952）

昭和20年（1945）5月14日の空襲により天守が焼失し、火災による被熱のため、石垣も損傷した。

■資料について

損傷状況については、下記の写真資料で確認できる

- ・新聞掲載の写真
- ・新聞掲載用に撮影され新聞には未掲載の写真
- ・名古屋城管理事務所所蔵の「昭和三十一年三月竣功 名古屋城天守閣跡 石垣積替工事写真帖」

また新聞記事には、穴蔵内側の石垣が、崩壊の恐れがあることを報告している。

■写真から分かること

- ①撮影されている範囲に限ると、穴蔵の内側の石垣と、出入口・明り取り等の開口部の外周部はすべて、焼損し丸みを帯びていることが分かる
- ②櫓形、開口部周りの角に崩壊している部分がある
- ③大天守西側の北側よりには慶長の創建時の計画変更の跡と考えられる「切抜」（※1）の痕跡がある

※1）「昭和三十一年三月竣功 名古屋城天守閣跡 石垣積替工事写真帖」では「切窓」と表現している。宝暦大修理の史料では、『御天守御修復取掛より惣出来迄仕様之大法』は「切抜」、『御天守御石垣取解築方起指図』は「水抜」と記載されている。』

1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

■写真による損傷状況

・名古屋城管理事務所所蔵

「昭和三十一年三月竣功 名古屋城天守閣跡 石垣積替工事写真帖」  
昭和30年度工事範囲について工事着手前の状況を撮影している



1



2



3



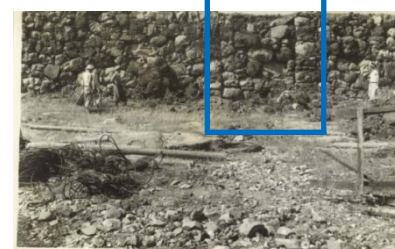
4



5



6



7



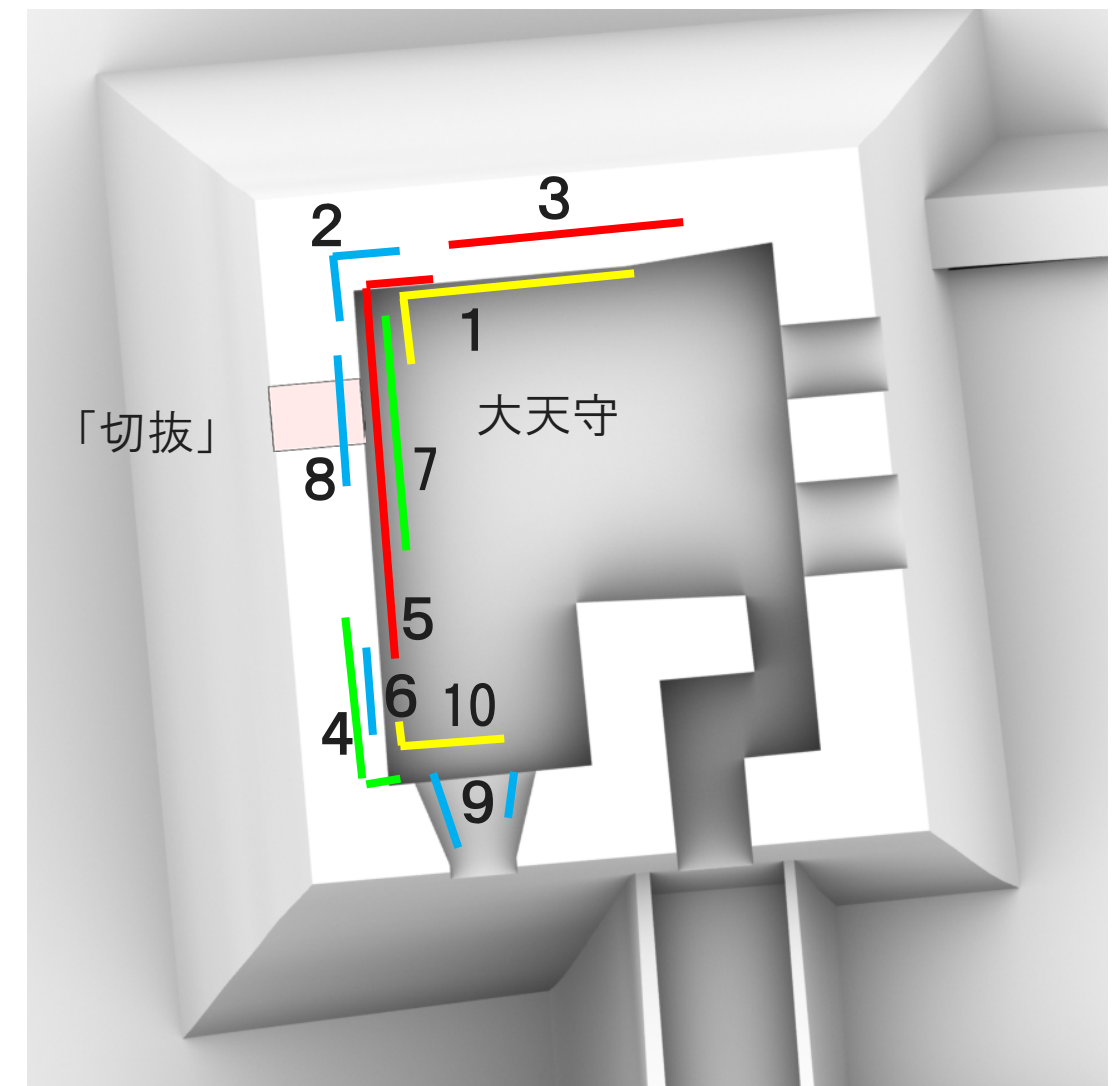
8 慶長の創建時の計画変更の跡と考えられる「切抜」の痕跡



9



10



Key plan

1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

5. 昭和期：石垣積換工事着手 昭和27年(1952)  
～ 天守閣再建工事着手前 昭和32年(1957)

焼損した内部石垣の損傷が激しくなり、外側の石垣の崩壊の恐れが出てきたため、昭和25年に国庫補助の申請を提出した。実際には昭和27年度から30年度の数回に分け施工されている。

■史料について

計画図については下記資料がある

愛知県教育委員会所蔵昭和25年10月17日 名古屋市  
「名古屋城天守閣及小天守閣内部石垣積換並に  
防水舗装工事 国庫補助の件申請」

実施状況については下記資料がある

- ・新聞記事と掲載写真
- ・新聞掲載用に撮影され新聞には未掲載の写真
- ・名古屋市『名古屋城史』 昭和34年 P.412
- ・名古屋城管理事務所  
「昭和三十一年三月竣工名古屋城天守閣跡  
石垣積替工事写真帖」

■史料から分かること

- ・石は8割を入れ替えた  
(名古屋タイムズ昭和28年11月2日)
- ・入手した写真の範囲では昭和25年の計画に対し  
地中の根石等の積換えを実施したか確認できない。  
築石背面のコンクリートは確認できない。

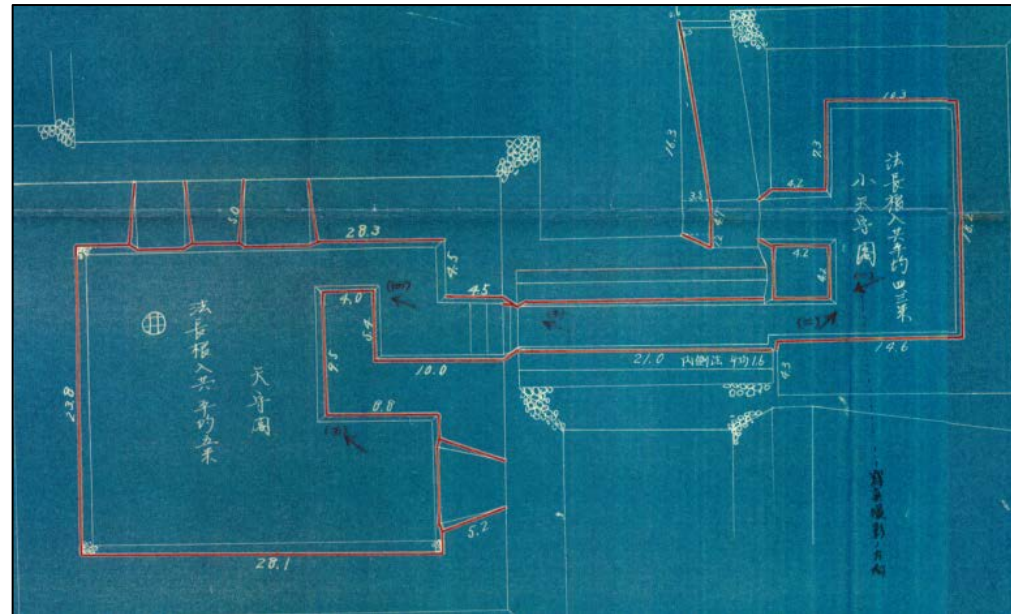
1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

■石垣の積換え工事の計画

愛知県教育委員会所蔵 昭和25年10月17日 名古屋市  
「名古屋城天守閣及小天守閣内部石垣積換並に防水舗装工事 国庫補助の件申請」

国庫補助金の申請のための計画図。

- ・実施時には数年度に分けて施工されている。
- ・新聞記事、昭和30年度の竣工記録写真から確認できる範囲では、実際の工事範囲、施工方法は、この図面通りではない可能性がある。



平面図

(明細書:天端 防水舗装

混凝土 厚100耗(mm)

モルタル 厚10耗)

在来外側石積

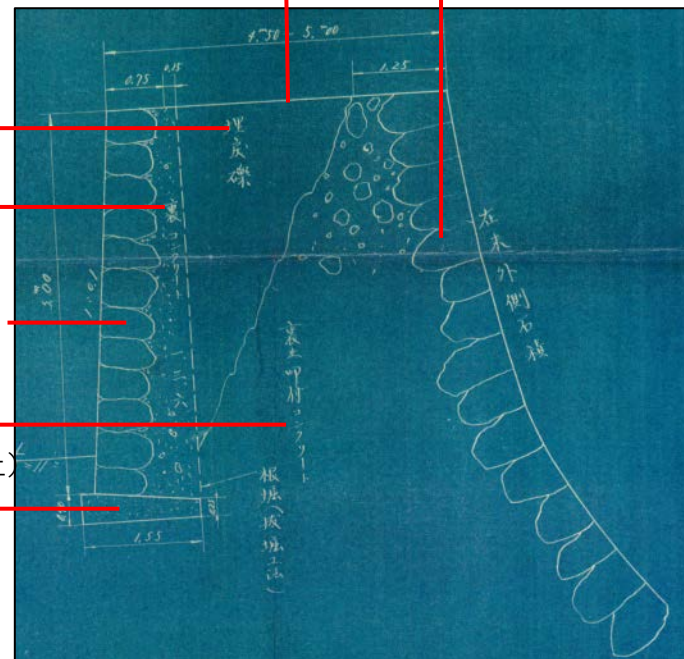
埋戻礫

裏コンクリート  
(明細書:裏込 混凝土)

(明細書:積石 75糎(cm))  
(小天守は60糎)

裏土吹付コンクリート  
(明細書:裏栗仮留付 混凝土)

(明細書:基礎 混凝土)

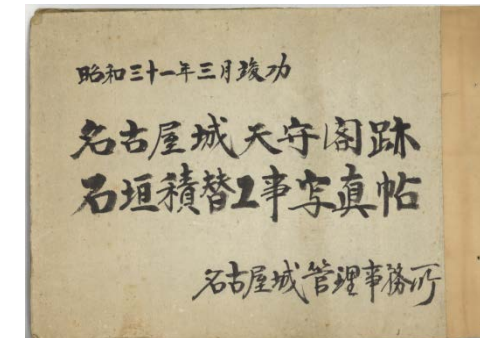


断面図

■工事範囲

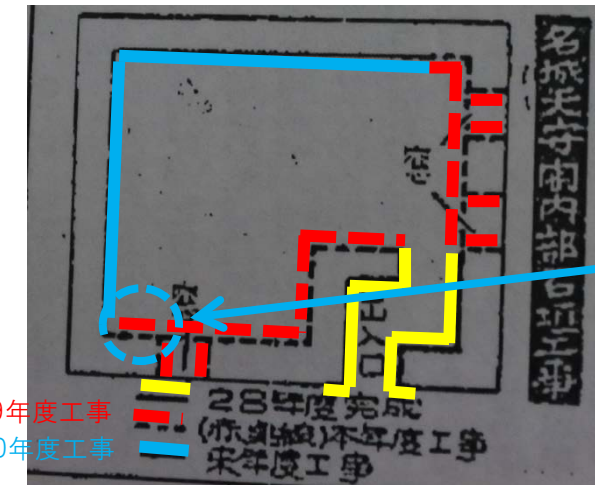
名古屋城管理事務所

「昭和三十一年三月竣工 名古屋城天守閣跡 石垣積替工事写真帖」 名古屋城管理事務所)



区分	積換箇所	積換時期	積換箇所	積換時期	積換箇所	積換時期
1	北正面北端	工中	24	北正面北端	工中	27
2	北正面	工中	25	北正面	工中	28
3	北正面	工中	26	北正面	工中	29
4	北正面	工中	27	北正面	工中	30
5	北正面	工中	28	北正面	工中	31
6	北正面	工中	29	北正面	工中	32
7	北正面	工中	30	北正面	工中	33
8	北正面	工中	31	北正面	工中	34
9	北正面	工中	32	北正面	工中	35
10	北正面	工中	33	北正面	工中	36
11	北正面	工中	34	北正面	工中	37
12	北正面	工中	35	北正面	工中	38
13	北正面	工中	36	北正面	工中	39
14	北正面	工中	37	北正面	工中	40
15	北正面	工中	38	北正面	工中	41
16	北正面	工中	39	北正面	工中	42
17	北正面	工中	40	北正面	工中	43
18	北正面	工中	41	北正面	工中	44
19	北正面	工中	42	北正面	工中	45
20	北正面	工中	43	北正面	工中	46
21	北正面	工中	44	北正面	工中	47
22	北正面	工中	45	北正面	工中	48
23	北正面	工中	46	北正面	工中	49
24	北正面	工中	47	北正面	工中	50
25	北正面	工中	48	北正面	工中	51
26	北正面	工中	49	北正面	工中	52
27	北正面	工中	50	北正面	工中	53
28	北正面	工中	51	北正面	工中	54
29	北正面	工中	52	北正面	工中	55
30	北正面	工中	53	北正面	工中	56
31	北正面	工中	54	北正面	工中	57
32	北正面	工中	55	北正面	工中	58
33	北正面	工中	56	北正面	工中	59
34	北正面	工中	57	北正面	工中	60
35	北正面	工中	58	北正面	工中	61
36	北正面	工中	59	北正面	工中	62
37	北正面	工中	60	北正面	工中	63
38	北正面	工中	61	北正面	工中	64
39	北正面	工中	62	北正面	工中	65
40	北正面	工中	63	北正面	工中	66
41	北正面	工中	64	北正面	工中	67
42	北正面	工中	65	北正面	工中	68
43	北正面	工中	66	北正面	工中	69
44	北正面	工中	67	北正面	工中	70
45	北正面	工中	68	北正面	工中	71
46	北正面	工中	69	北正面	工中	72
47	北正面	工中	70	北正面	工中	73
48	北正面	工中	71	北正面	工中	74
49	北正面	工中	72	北正面	工中	75
50	北正面	工中	73	北正面	工中	76
51	北正面	工中	74	北正面	工中	77
52	北正面	工中	75	北正面	工中	78
53	北正面	工中	76	北正面	工中	79
54	北正面	工中	77	北正面	工中	80
55	北正面	工中	78	北正面	工中	81
56	北正面	工中	79	北正面	工中	82
57	北正面	工中	80	北正面	工中	83
58	北正面	工中	81	北正面	工中	84
59	北正面	工中	82	北正面	工中	85
60	北正面	工中	83	北正面	工中	86
61	北正面	工中	84	北正面	工中	87
62	北正面	工中	85	北正面	工中	88
63	北正面	工中	86	北正面	工中	89
64	北正面	工中	87	北正面	工中	90
65	北正面	工中	88	北正面	工中	91
66	北正面	工中	89	北正面	工中	92
67	北正面	工中	90	北正面	工中	93
68	北正面	工中	91	北正面	工中	94
69	北正面	工中	92	北正面	工中	95
70	北正面	工中	93	北正面	工中	96
71	北正面	工中	94	北正面	工中	97
72	北正面	工中	95	北正面	工中	98
73	北正面	工中	96	北正面	工中	99
74	北正面	工中	97	北正面	工中	100

中日新聞 昭和30年(1956)1月13日夕刊



写真では南側窓の  
半分は30年度に施工

29年度工事  
30年度工事

1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

5. 昭和期：石垣積換工事着手 昭和27年（1952）  
～ 天守閣再建工事着手前 昭和32年（1957）

焼損した内部石垣の損傷が激しくなり、外側の石垣の崩壊の恐れが出てきたため、昭和25年に国庫補助の申請を提出した。実際には昭和27年度から30年度の数回に分け施工されている。

■史料について

計画図については下記資料がある  
愛知県教育委員会所蔵昭和25年10月17日 名古屋市  
「名古屋城天守閣及小天守閣内部石垣積換並に  
防水舗装工事 国庫補助の件申請」  
実施状況については下記資料がある

- ・新聞記事と掲載写真
- ・新聞掲載用に撮影され新聞には未掲載の写真
- ・名古屋市『名古屋城史』 昭和34年 P.412
- ・名古屋城管理事務所  
「昭和三十一年三月竣工名古屋城天守閣跡  
石垣積替工事写真帖」

■史料から分かること

- ・石は8割を入れ替えた  
(名古屋タイムズ昭和28年11月2日)
- ・入手した写真の範囲では昭和25年の計画に対し  
地中の根石等の積換えを実施したか確認できない。  
築石背面のコンクリートは確認できない。

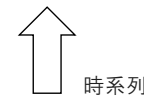
1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

■写真による施工状況  
大天守 穴蔵 内側の石垣

■大天守穴蔵石垣の修理完了後



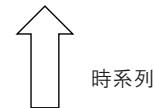
出典：名古屋タイムズアーカイブズ委員会 所蔵  
裏面書込320502 「名城の土台となる石垣」



■大天守の入口櫓形裏 2回目修理後



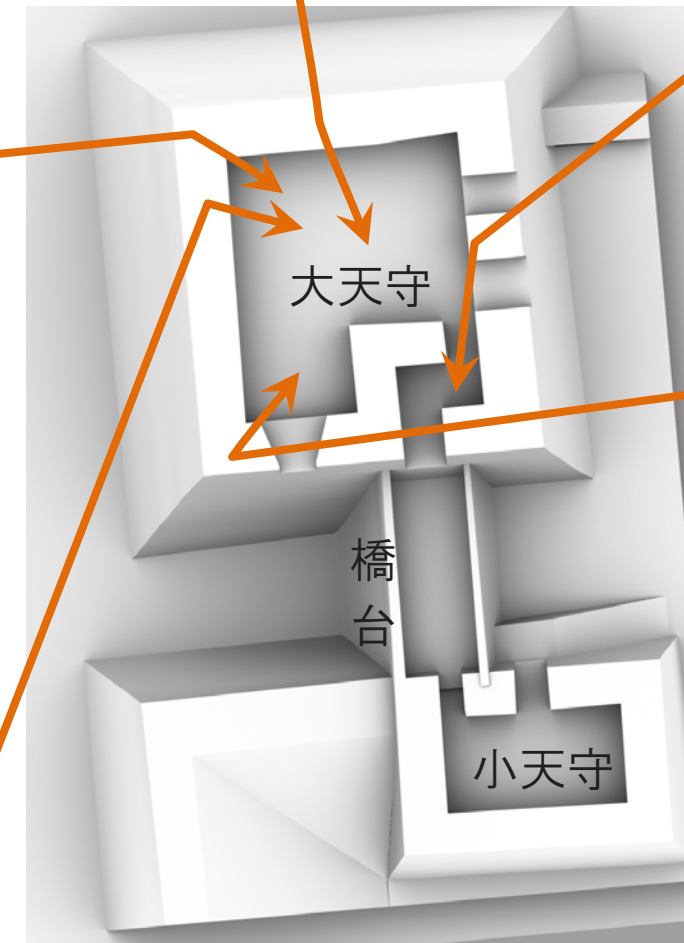
出典：中日新聞 所蔵  
「名古屋城天守閣石垣積み替え」 昭和30年 年頭～昭和31年 年頭 頃



■大天守の入口櫓形裏 1回目修理後



出典：名古屋タイムズアーカイブズ委員会 所蔵  
裏面書込290326 「名城趾 天守閣跡 左は黄金水の井戸」



■大天守の入口櫓形裏側の修理後



出典：中日新聞 所蔵  
「名古屋城天守閣跡 石垣修繕」 昭和30年 年頭頃

■大天守の修理完了後 礎石移動後 SRC天守工事着手直後



出典：名古屋タイムズアーカイブズ委員会 所蔵 昭32.7.23

1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

5. 昭和期：石垣積換工事着手 昭和27年（1952）  
～ 天守閣再建工事着手前 昭和32年（1957）

焼損した内部石垣の損傷が激しくなり、外側の石垣の崩壊の恐れが出てきたため、昭和25年に国庫補助の申請を提出した。実際には昭和27年度から30年度の数回に分け施工されている。

■史料について

計画図については下記資料がある  
愛知県教育委員会所蔵昭和25年10月17日 名古屋市  
「名古屋城天守閣及小天守閣内部石垣積換並に  
防水舗装工事 国庫補助の件申請」  
実施状況については下記資料がある

- ・新聞記事と掲載写真
- ・新聞掲載用に撮影され新聞には未掲載の写真
- ・名古屋市『名古屋城史』 昭和34年 P.412
- ・名古屋城管理事務所  
「昭和三十一年三月竣工名古屋城天守閣跡  
石垣積替工事写真帖」

■史料から分かること

- ・石は8割を入れ替えた  
(名古屋タイムズ昭和28年11月2日)
- ・入手した写真の範囲では昭和25年の計画に対し  
地中の根石等の積換えを実施したか確認できない。  
築石背面のコンクリートは確認できない。

1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

■写真による施工状況  
小天守 穴蔵 内側の石垣

■小天守穴蔵石垣の修理完了後

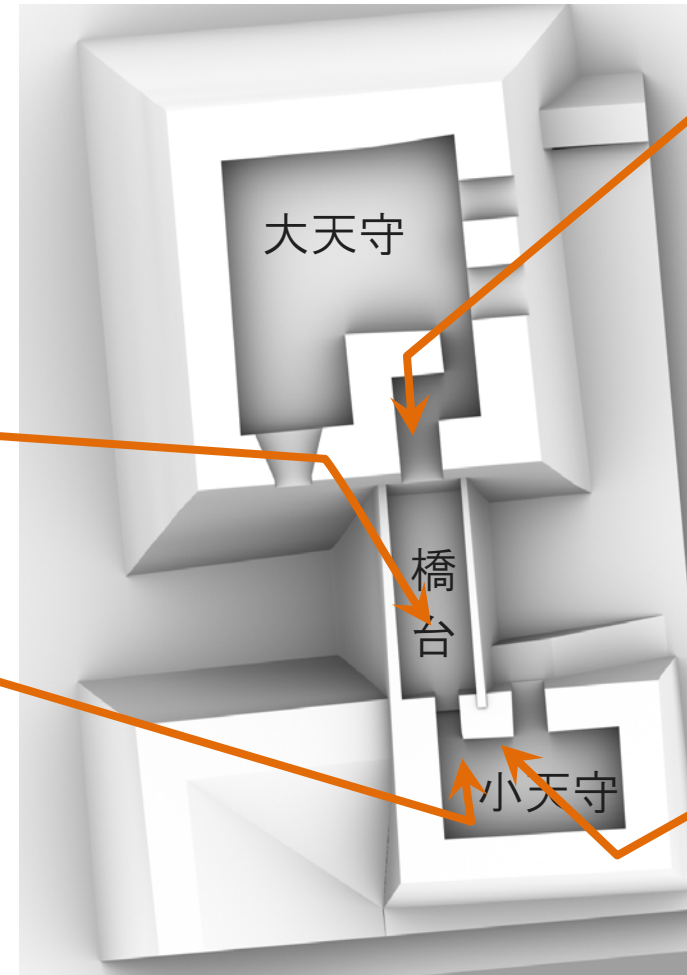


出典：名古屋タイムズアーカイブズ委員会 所蔵  
裏面書込320702

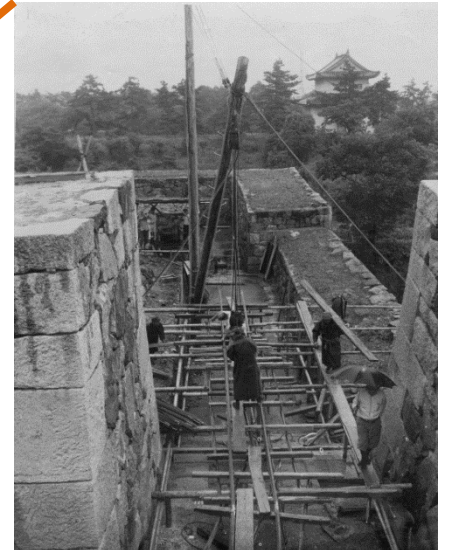
■小天守修理完了後 大天守の修理前



出典：名古屋タイムズアーカイブズ委員会 所蔵  
裏面書込290326 写真裏書「名城石垣 十年ぶりに  
角の付いた名城石垣」



■大・小天守の修理完了後 SRC天守工事  
着手後



出典：名古屋タイムズアーカイブズ委員会 所蔵  
裏面書込320704 写真裏書「名城再  
建工事進む」

■大・小天守の修理完了後



出典：名古屋タイムズアーカイブズ委員会 所蔵  
裏面書込310220 写真裏書「土質調  
査のボーリング据付け」

1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

6. 昭和期：天守閣再建工事期間

昭和32年（1957）～昭和34年（1959）

天守の基礎、ケーソン沈設工事に伴い、石垣についても内外とも一部積み直しが行われている。

■史料について

図面については下記資料がある

「名古屋城建設工事 天守測量図 昭和32年5月作図」

「名古屋城建設工事 地階平面図 昭和32年5月作図」

実施状況については下記資料がある

- ・新聞記事と掲載写真
- ・新聞掲載用に撮影され新聞には未掲載の写真
- ・名古屋タイムズ・アーカイブ委員会『名古屋城再建』樹林舎 2010年 ※1
- ・DVD NHK『プロジェクトX 名古屋城再建金のシャチホコに託す』平成17年放送
- ・名古屋市市政資料館所蔵『名古屋城改築工程写真 其一・其二』
- ・株式会社安藤・間所蔵「名古屋城建設工事」工事写真

■史料から分かること

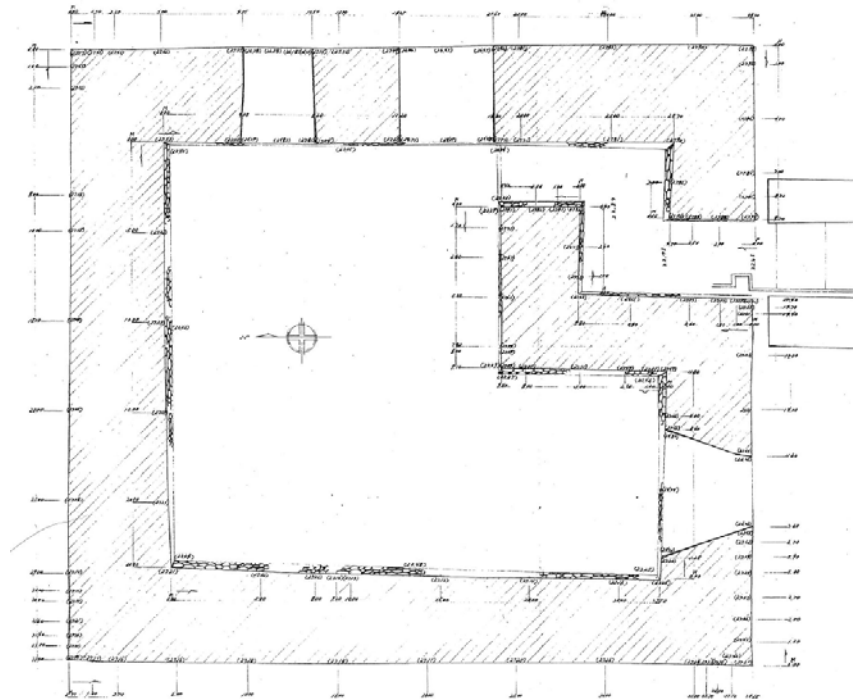
- ・平面計画上、基礎やケーソン埋設範囲が石垣と干渉するために、石垣撤去し基礎上部に石垣を復元した部分がある。
- ・ケーソンを沈設する際、周囲の石垣が崩壊したために、積み直した部分がある。
- ・積み直す石は、正門北側穴門の旧材や新規に恵那地方の御影石を使用している。参照：※1, p.48)
- ・北側はらみ部はモルタルを注ぎ込む補強をしている（参照：※1, p.57）

1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

■図面

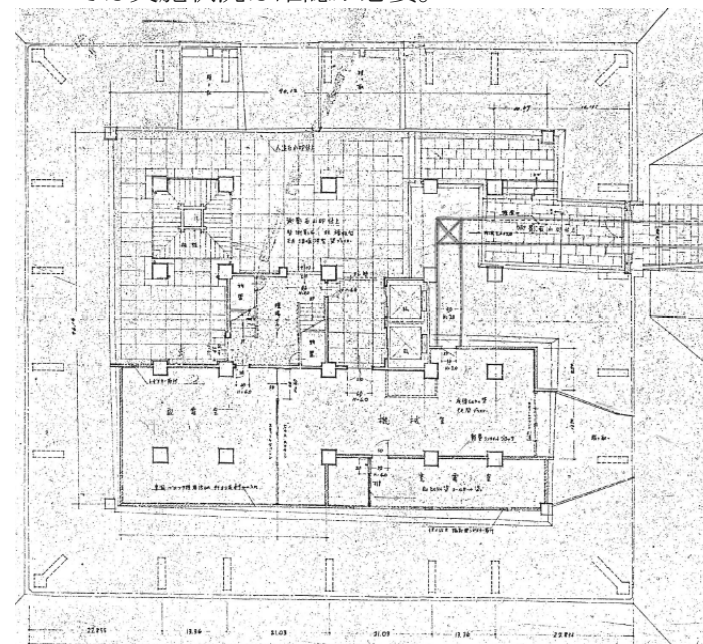
「名古屋城建設工事 天守測量図 昭和32年5月作図」

工事着手前に穴蔵石垣を実測したもの



「名古屋城建設工事 地階平面図 昭和32年5月作図」

現状と相違する部分がある。石垣のラインは上記実測図の線をそのまま残したものと考えられ、躯体裏の隠蔽部については実施状況は確認が必要。



■写真

大天守北側石垣の補強



名古屋タイムズ・アーカイブ委員会『名古屋城再建』樹林舎 2010年p.58

昭和33年5月12日の記事 「モルタルを注ぎこんで石垣を補強」

「(略)石垣自体はほとんど昔のままなので、かなり不安定な状態にあるらしい。特に北面の石垣は東の方がコブのようにふくれあがって今にもくずれそうになっているので、九日からカニーフ式と呼ばれるグラウトミキサーを使って石垣の割れ目からモルタルを注ぎこむ補強作業を始めた。

これは石垣をセメントでくずれないように、つなぎとめるというのが目的だが、コンプレッサーで三キロもの圧力をかけると、パイプで送ったモルタルが隣の割れ目から逆に噴出してきてしまう。これでは石垣にセメントがついて汚くなるので石垣の割れ目にまず粘土をつめてからやるという手間のかかる仕事。」



1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

6. 昭和期：天守閣再建工事期間

昭和32年（1957）～昭和34年（1959）

天守の基礎、ケーソン沈設工事に伴い、石垣についても内外とも一部積み直しが行われている。

■史料について

図面については下記資料がある

「名古屋城建設工事 天守測量図 昭和32年5月作図」

「名古屋城建設工事 地階平面図 昭和32年5月作図」

実施状況については下記資料がある

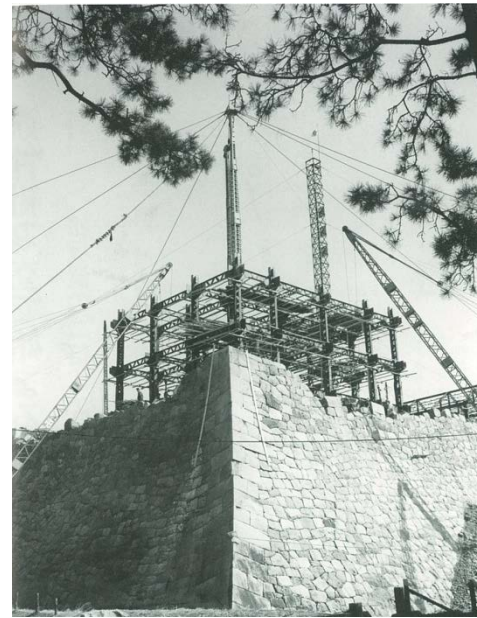
- ・新聞記事と掲載写真
- ・新聞掲載用に撮影され新聞には未掲載の写真
- ・名古屋タイムズ・アーカイブ委員会『名古屋城再建』樹林舎 2010年 ※1
- ・DVD NHK『プロジェクトX 名古屋城再建金のシャチホコに託す』平成17年放送
- ・名古屋市市政資料館所蔵『名古屋城改築工程写真 其一・其二』
- ・株式会社安藤・間所蔵「名古屋城建設工事」工事写真

■史料から分かること

- ・平面計画上、基礎やケーソン埋設範囲が石垣と干渉するために、石垣撤去し基礎上部に石垣を復元した部分がある。
- ・ケーソンを沈設する際、周囲の石垣が崩壊したために、積み直した部分がある。
- ・積み直す石は、正門北側穴門の旧材や新規に恵那地方の御影石を使用している（参照：※1, p.48）
- ・北側はらみ部はモルタルを注ぎ込む補強をしている（参照：※1, p.57）

1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

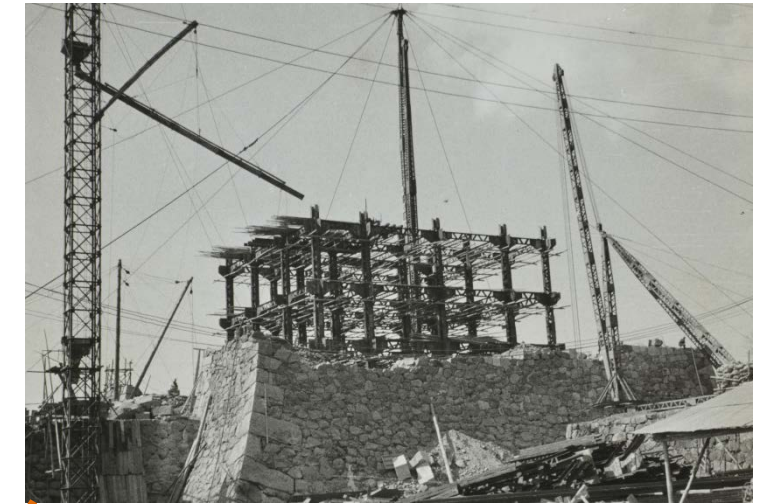
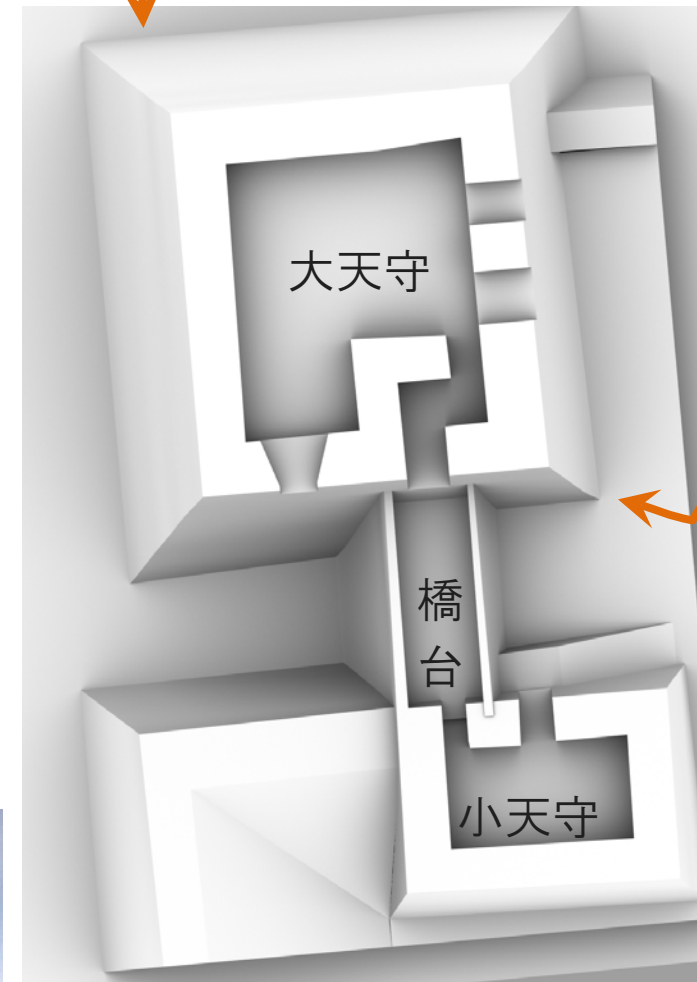
■天守台外側の石垣



『名古屋城再建』p.48 昭和33年3月11日の記事  
北側と西側の石垣が大きく崩されている。  
「石垣の積み直しも進んでいるが、戦災でヤキが入っているので積み直しとしてもポロボロで砕けてしまう石が多い」



『プロジェクトX 名古屋城再建 金のシャチホコに託す』  
DVD NHK 2分11秒～16秒



『名古屋城改築工程写真 其一』p.10  
「33.3.14」大天守東側の天端が崩壊している



『プロジェクトX 名古屋城再建 金のシャチホコに託す』  
DVD NHK 28分29秒～35秒

「石垣の東側が大きく歪んでいました。」  
「二〇〇個の石がすべて取り外され地上に並べられた」  
「取り外した石のダメージが予想以上に大きく、あらためて積みなおすことすらできない石がいくつも見つかったのである。」  
「(岐阜県)蛭川村から運んできた花崗岩を置いた(中略)新しい石は真っ白で、きれいすぎるんです」  
「「古色」をつける技術があることを知った。(中略)大量の番茶を煮出し、そこに墨汁を加え、石に塗った。」

NHKプロジェクトX制作班  
『プロジェクトX 挑戦者たち 29 曙光 激闘の果てに』  
日本放送出版協会 2005年 p.40～p.55

1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

6. 昭和期：天守閣再建工事期間

昭和32年（1957）～昭和34年（1959）

天守の基礎、ケーソン沈設工事に伴い、石垣についても内外とも一部積み直しが行われている。

■史料について

図面については下記資料がある

「名古屋城建設工事 天守測量図 昭和32年5月作図」

「名古屋城建設工事 地階平面図 昭和32年5月作図」

実施状況については下記資料がある

- ・新聞記事と掲載写真
- ・新聞掲載用に撮影され新聞には未掲載の写真
- ・名古屋タイムズ・アーカイブ委員会『名古屋城再建』樹林舎 2010年 ※1
- ・DVD NHK『プロジェクトX 名古屋城再建金のシャチホコに託す』平成17年放送
- ・名古屋市市政資料館所蔵『名古屋城改築工程写真 其一・其二』
- ・株式会社安藤・間所蔵「名古屋城建設工事」工事写真

■史料から分かること

- ・平面計画上、基礎やケーソン埋設範囲が石垣と干渉するために、石垣撤去し基礎上部に石垣を復元した部分がある。
- ・ケーソンを沈設する際、周囲の石垣が崩壊したために、積み直した部分がある。
- ・積み直す石は、正門北側穴門の旧材や新規に恵那地方の御影石を使用している（参照：※1, p.48）
- ・北側はらみ部はモルタルを注ぎ込む補強をしている（参照：※1, p.57）

1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

■大天守 穴蔵内側の石垣



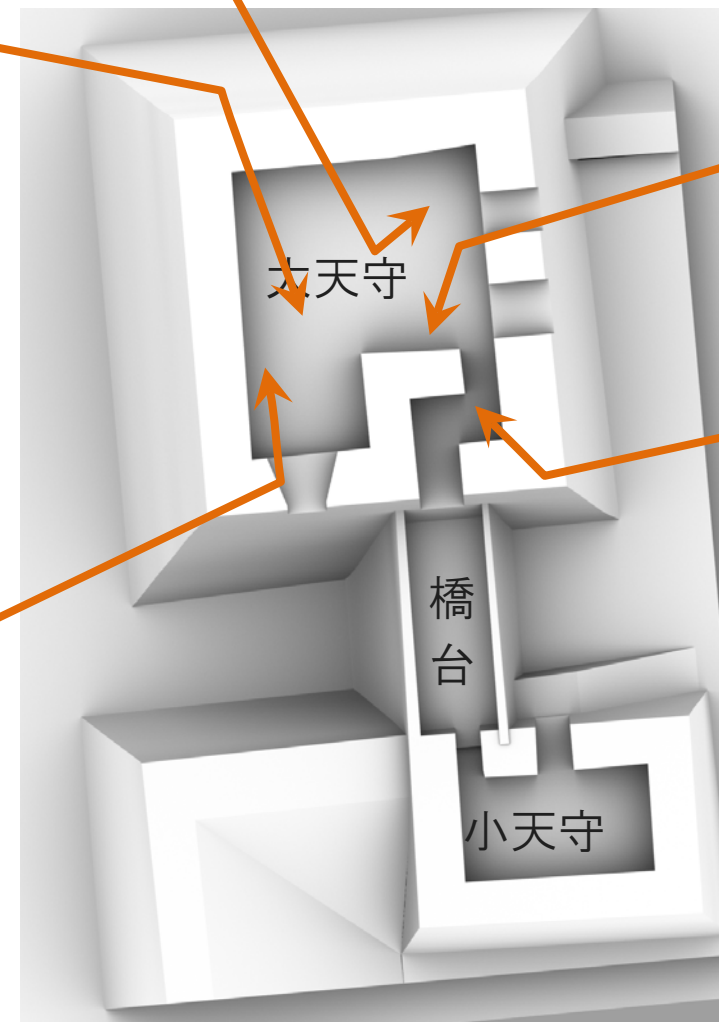
『名古屋城再建』p.45 昭和33年2月11日の記事  
北側と東側明り取り窓までの石垣が大きく崩されている。



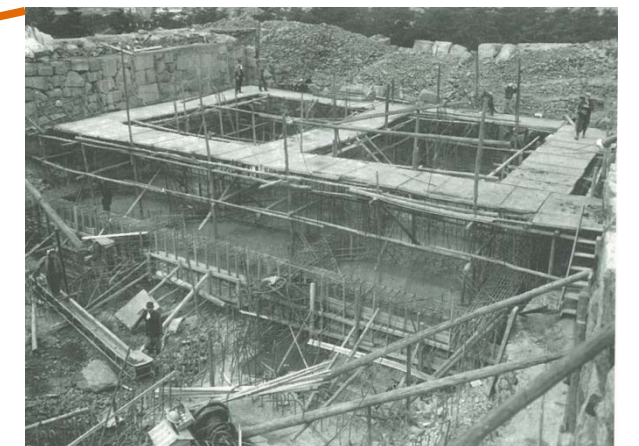
『名古屋城再建』p.27 昭和32年8月11日の記事  
「沈下準備の終わった大天守のケーソン」  
周囲の穴蔵内側の石垣はまだ崩されていない



『名古屋城改築工程写真 其一』p.6  
「ケーソンの沈下に伴い石垣上部に変形を生じた」



『名古屋城再建』p.26 昭和32年8月1日の記事  
入口樹形のL型部石垣がケーソンと干渉するため撤去されている



『名古屋城再建』p.44 昭和33年2月1日の記事  
「地中梁の配筋が進みコンクリートを打っている」  
北側の石垣が大きく崩されている。

1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

6. 昭和期：天守閣再建工事期間

昭和32年（1957）～昭和34年（1959）

天守の基礎、ケーソン沈設工事に伴い、石垣についても内外とも一部積み直しが行われている。

■史料について

図面については下記資料がある

「名古屋城建設工事 天守測量図 昭和32年5月作図」

「名古屋城建設工事 地階平面図 昭和32年5月作図」

実施状況については下記資料がある

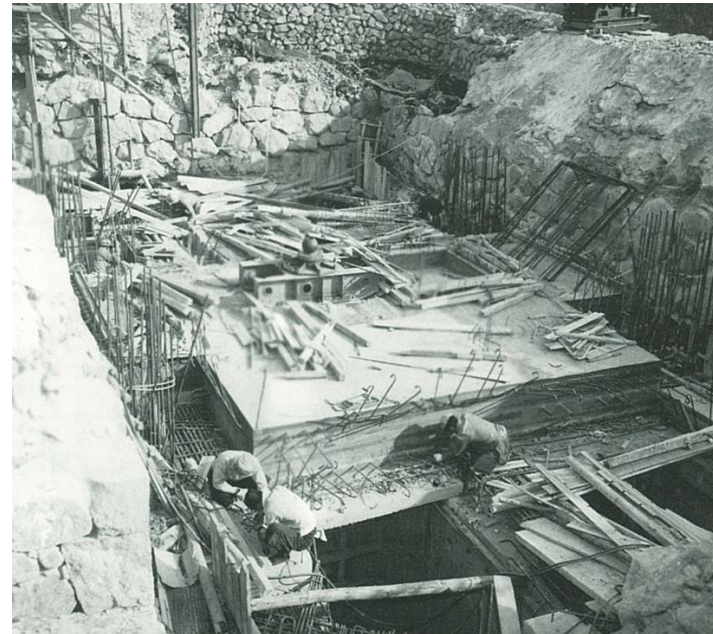
- ・新聞記事と掲載写真
- ・新聞掲載用に撮影され新聞には未掲載の写真
- ・名古屋タイムズ・アーカイブ委員会  
『名古屋城再建』樹林舎 2010年 ※1
- ・DVD NHK『プロジェクトX 名古屋城再建金のシャチホコに託す』平成17年放送
- ・名古屋市市政資料館所蔵  
『名古屋城改築工程写真 其一・其二』
- ・株式会社安藤・間所蔵  
「名古屋城建設工事」工事写真

■史料から分かること

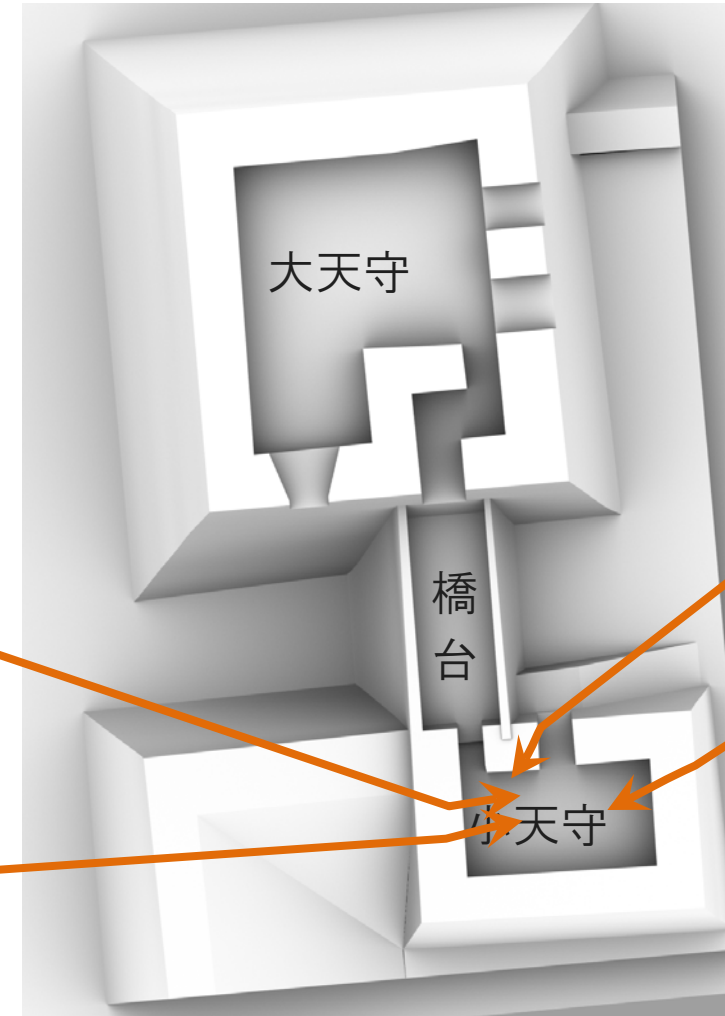
- ・平面計画上、基礎やケーソン埋設範囲が石垣と干渉するために、石垣撤去し基礎上部に石垣を復元した部分がある。
- ・ケーソンを沈設する際、周囲の石垣が崩壊したために、積み直した部分がある。
- ・積み直す石は、正門北側穴門の旧材や新規に恵那地方の御影石を使用している。（参照：※1 p.48）
- ・北側はらみ部はモルタルを注ぎ込む補強をしている（参照：※1 p.57）

1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

■小天守 穴蔵内側の石垣



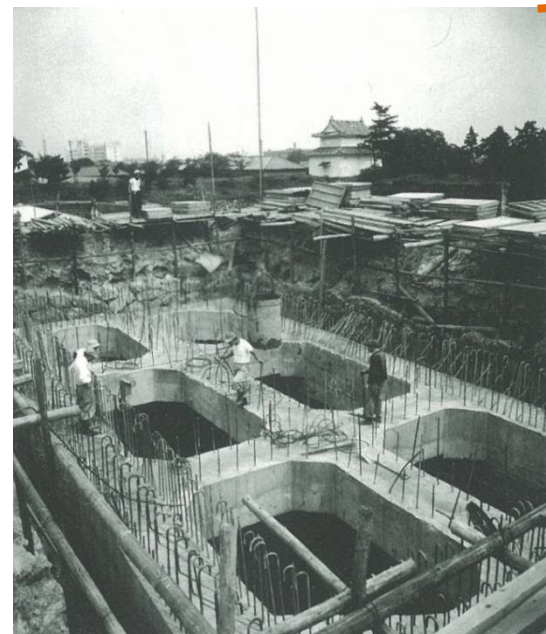
『名古屋城再建』p.38 昭和32年12月1日の記事  
「持ち出し梁(中略)がケーソンの壁の壁より外に張り出すのでどうしても石垣がじゃまになる。このため四隅の石垣を内側だけ削り取ってしまった。」



『名古屋城改築工程写真 其一』p.8  
「石垣は創建当初この部分を出入口に計画されたとの記録があったが、今回のこの工事でその事実が判明した。西側(前方)の石垣が西(右方)へ延びている」



『名古屋城改築工程写真 其一』p.9



『名古屋城再建』p.27  
「すでに1.8メートル沈んだ小天守のケーソン」

1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

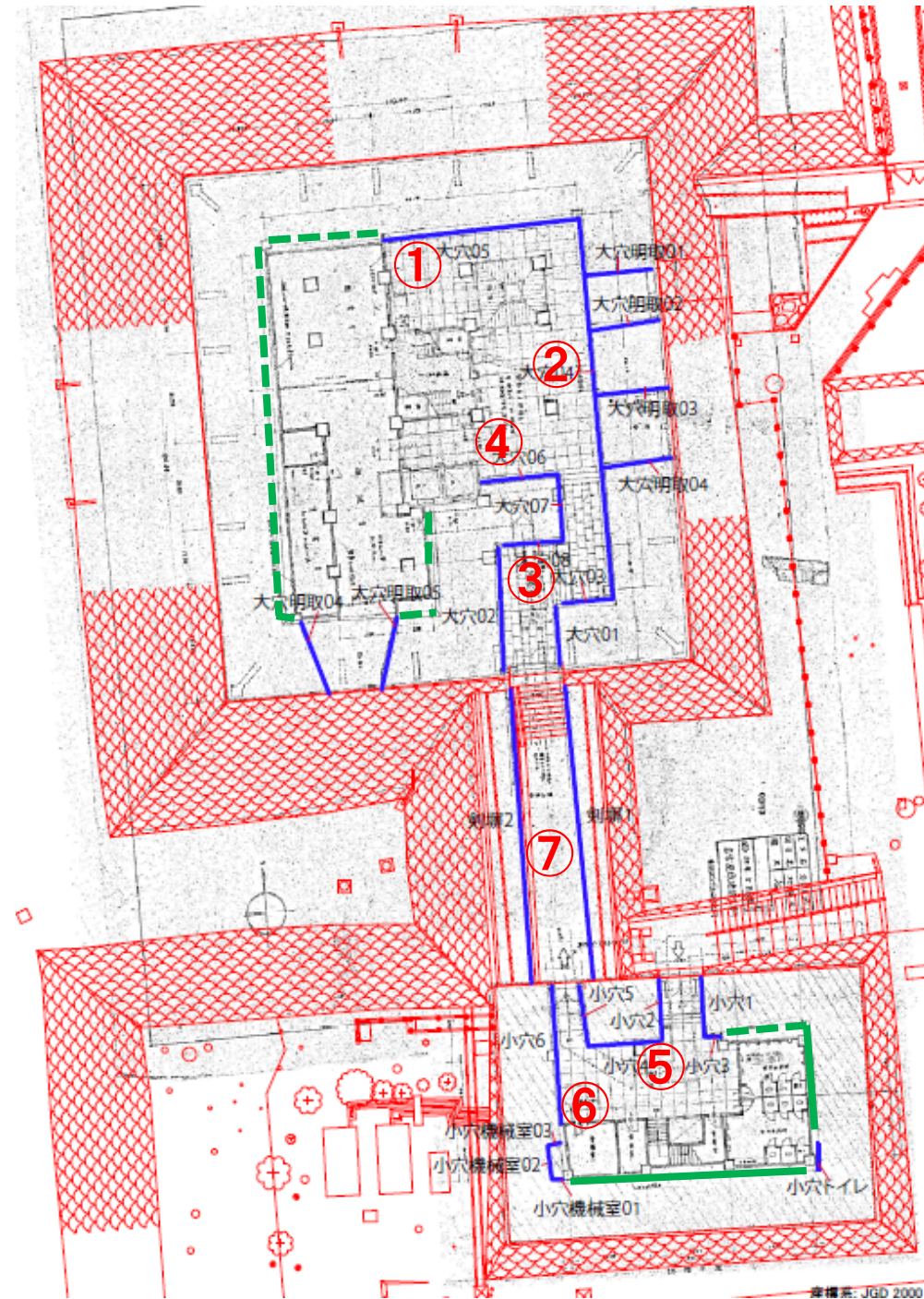
7 天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)  
～平成期：現在までの状況

天守閣再建後の修理履歴はない

■現状視認できる範囲の天守台穴蔵の内側の石垣

- ・2017年7月の簡易な写真撮影とレーザー計測による石垣の立面画像が作成できた範囲を右図にしめす。

■現状視認できる範囲の天守台穴蔵内側の石垣



凡例

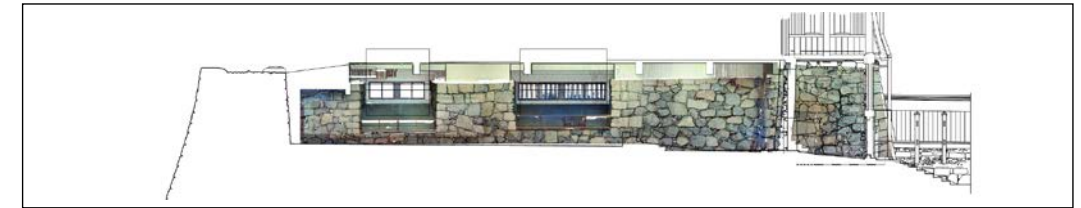
- 計測により立面画像が作成できた範囲(平成29年7月)
- 石垣の存在は確認できたが、計測ができない範囲
- - - 視認できていないが、石垣が存在すると想定される範囲

1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

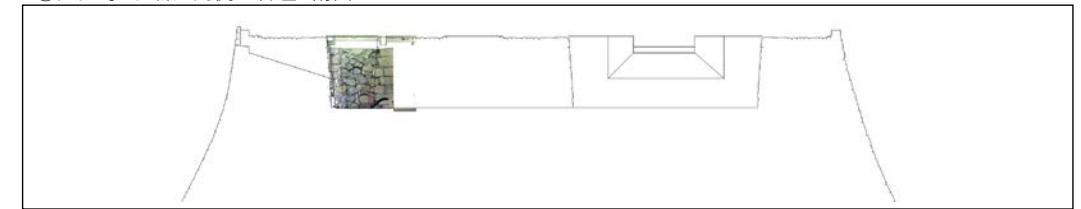
①大天守 穴蔵 内側の石垣 北面



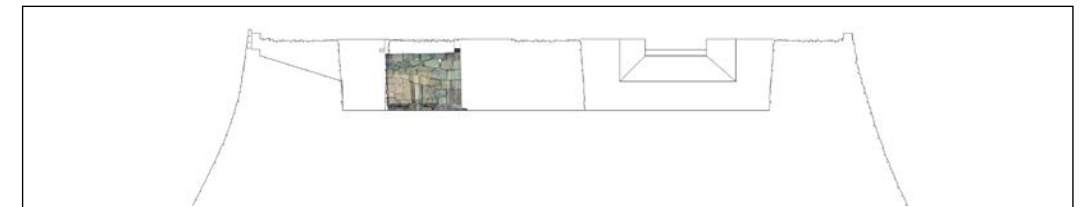
②大天守 穴蔵 内側の石垣 東面



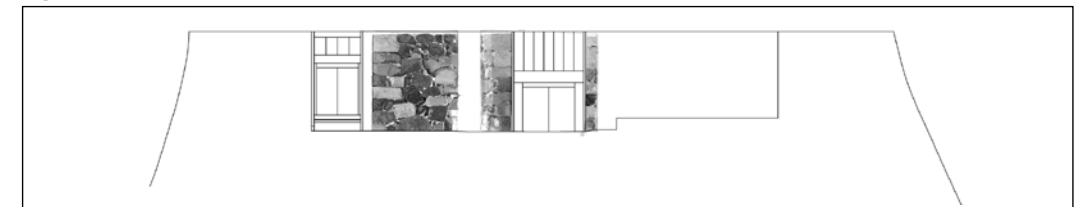
③大天守 穴蔵 内側の石垣 南面



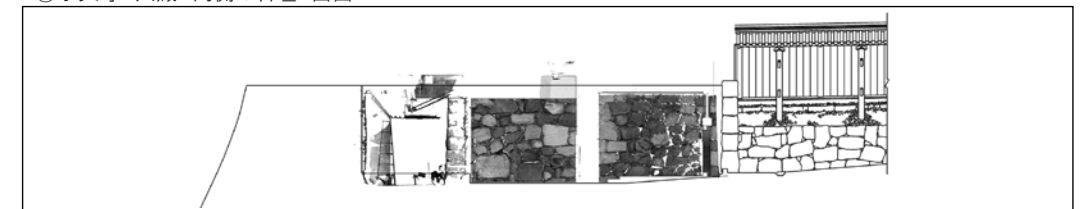
④大天守 穴蔵 内側の石垣 樹形まわり



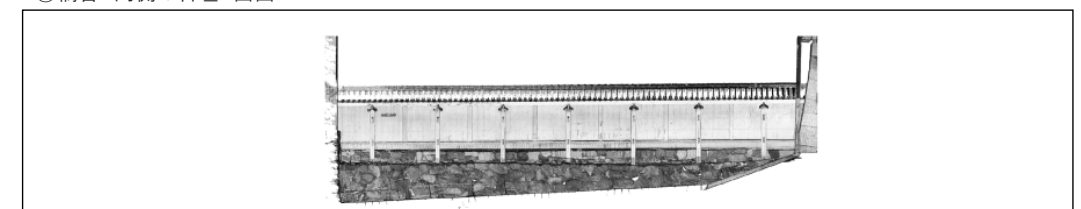
⑤小天守 穴蔵 内側の石垣 北面



⑥小天守 穴蔵 内側の石垣 西面



⑦橋台 内側の石垣 西面



※図面のラインは仮の形状です。今後実測の上反映します。写真の形状も調整を行います。

1-1 天守台石垣の検証

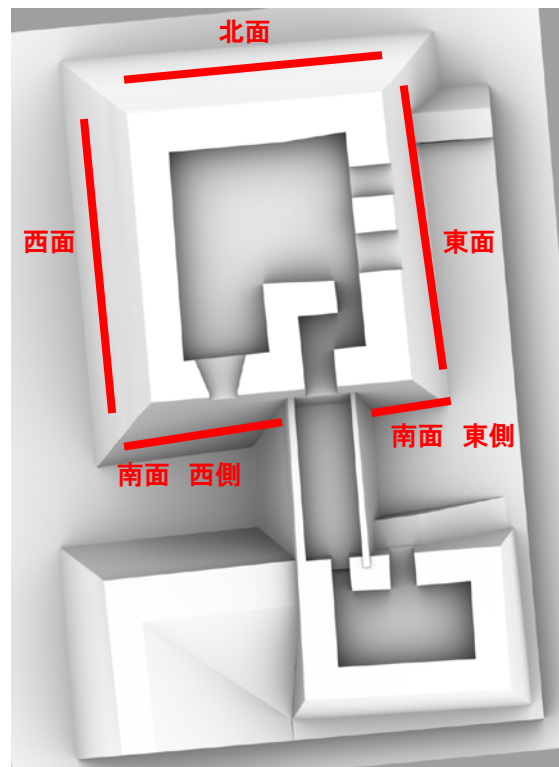
(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

7 天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)  
～平成期：現在までの状況

天守閣再建後の修理履歴はない

■現状視認できる 天守台外側の石垣

- ・名古屋市『名古屋城天守台石垣健全性評価報告書』平成24年3月により、石垣の立面画像が作成できている範囲を右図にしめす。

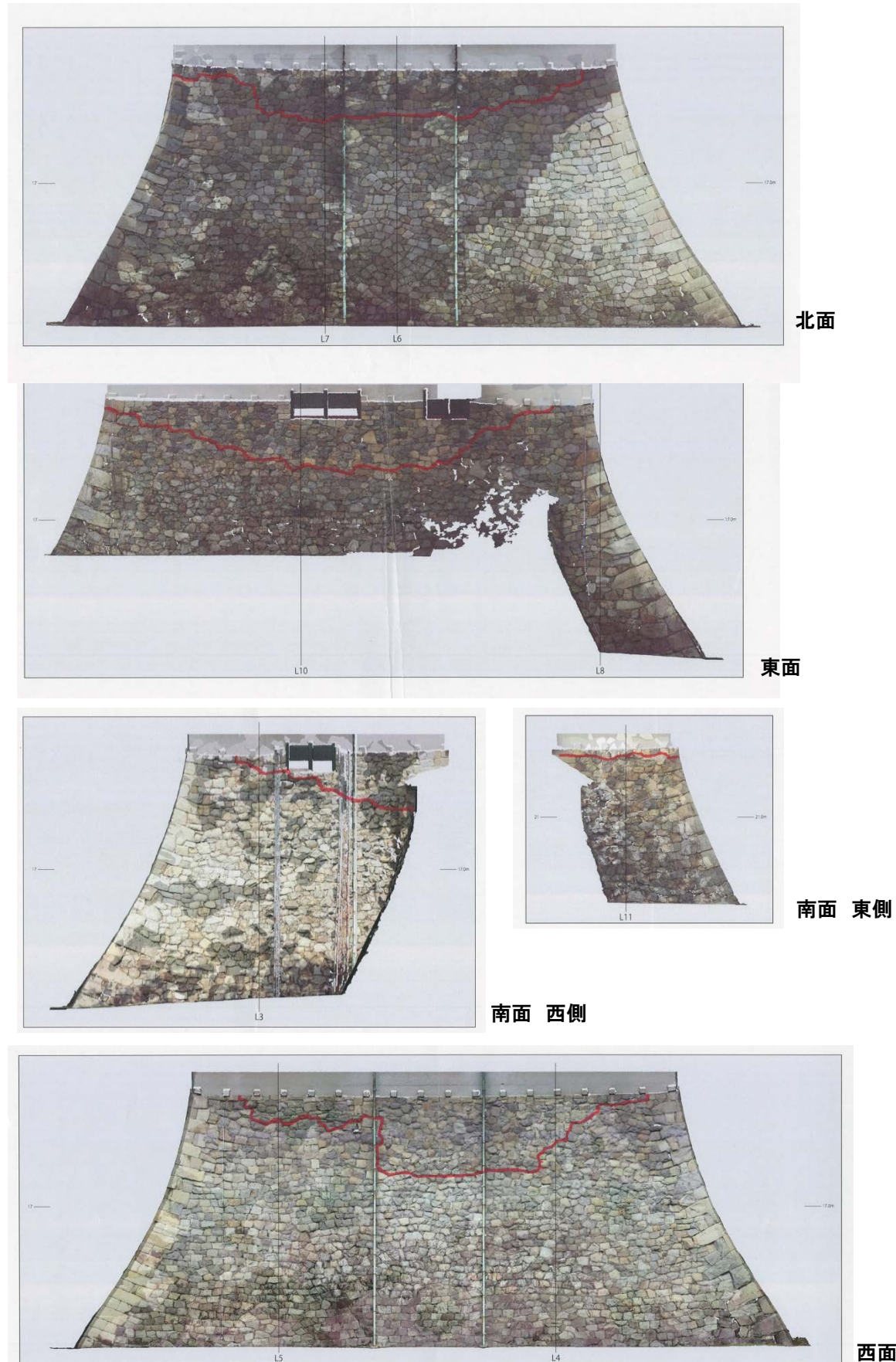


1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

■大天守の石垣立面画像

立面画像画中の 線は上下で積み方が変わっている石目のライン

名古屋市『名古屋城天守台石垣健全性評価報告書』平成24年3月 の添付図画像に竹中工務店が石目のラインを加筆



1-1 天守台石垣の検証

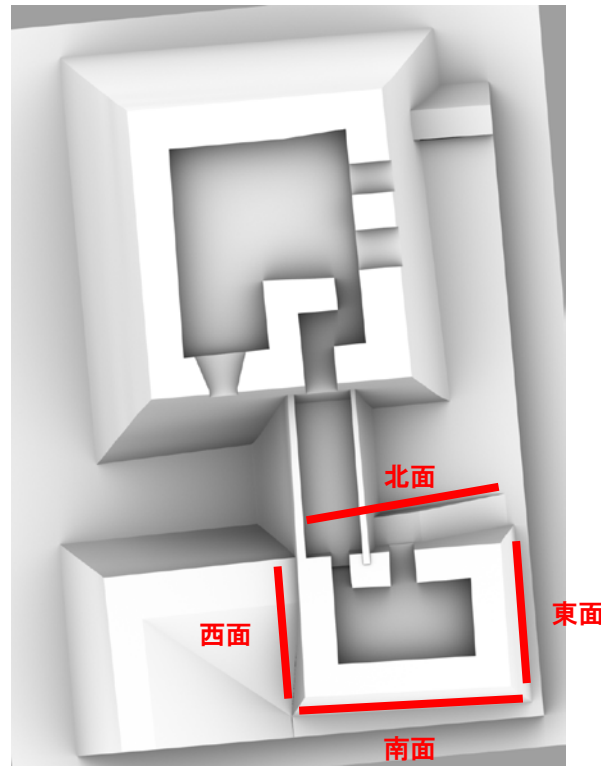
(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

7 天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)  
 ~平成期：現在までの状況

天守閣再建後の修理履歴はない

■現状視認できる 天守台外側の石垣

・名古屋市『名古屋城天守台石垣健全性評価報告書』平成24年3月により、石垣の立面画像が作成できている範囲を右図にしめす。

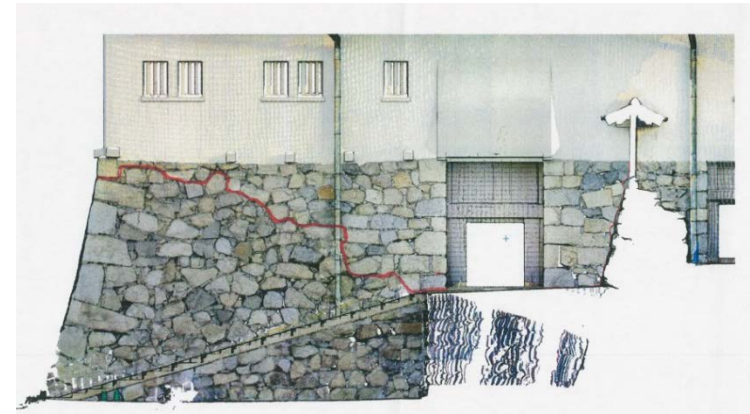


1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

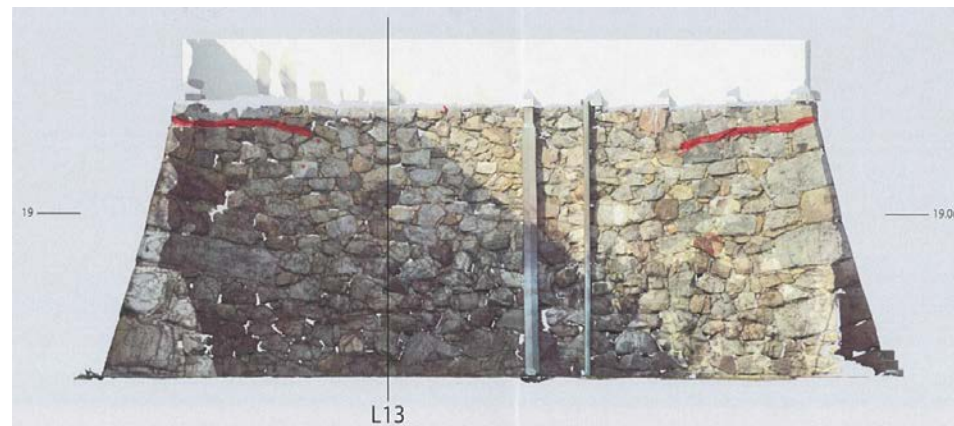
■小天守の石垣立面画像

立面画像画中の 線は上下で積み方が変わっている石目のライン

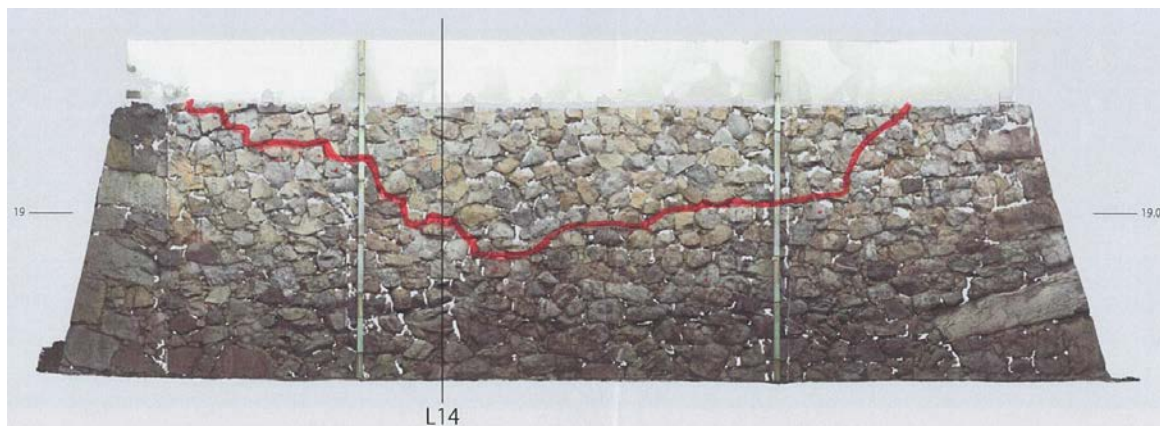
名古屋市『名古屋城天守台石垣健全性評価報告書』平成24年3月 の添付図画像に竹中工務店が石目のラインを加筆



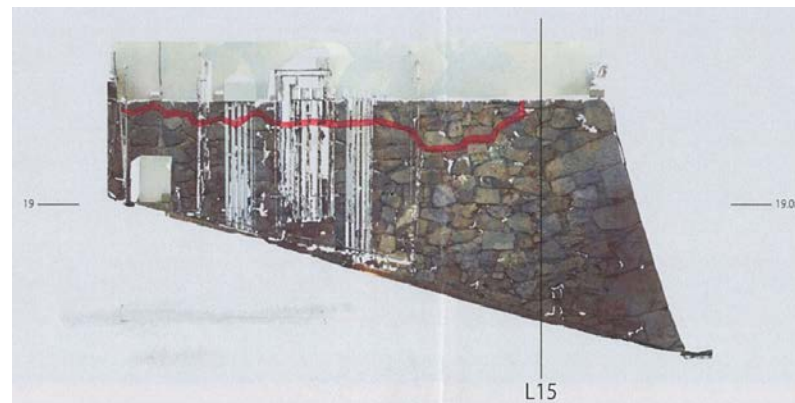
小天守 北面 この画像のみ竹中工務店が作成



小天守 東面



小天守 南面



小天守 西面

1-1 天守台石垣の検証

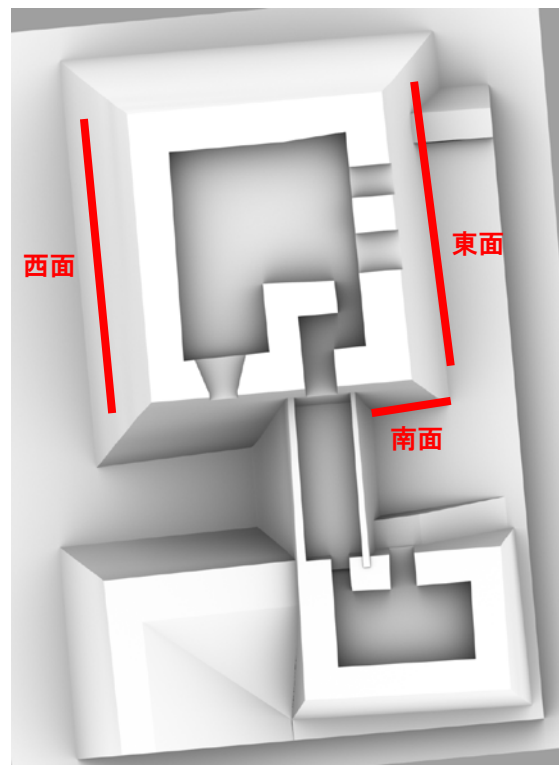
(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

7 天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)  
～平成期：現在までの状況

天守閣再建後の修理履歴はない

■現状視認できる 天守台外側の石垣

- ・名古屋市『名古屋城天守台石垣健全性評価報告書』平成24年3月により、石垣の立面画像が作成できている範囲を右図にしめす。

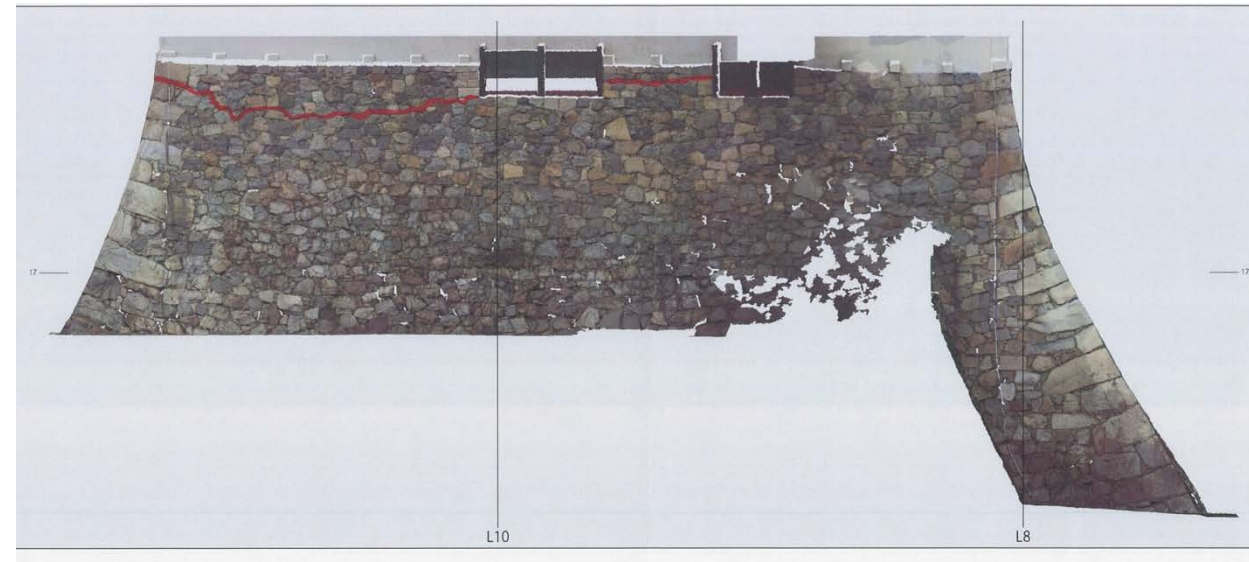


1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

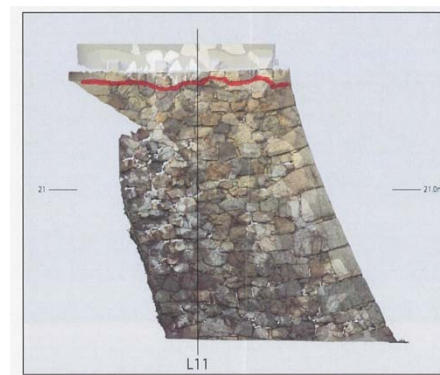
■工事写真において取外している状態が確認できる範囲

立面画像画中の 線は取外している状態が確認できる石目のライン (これ以上の範囲を取り外している可能性がある)

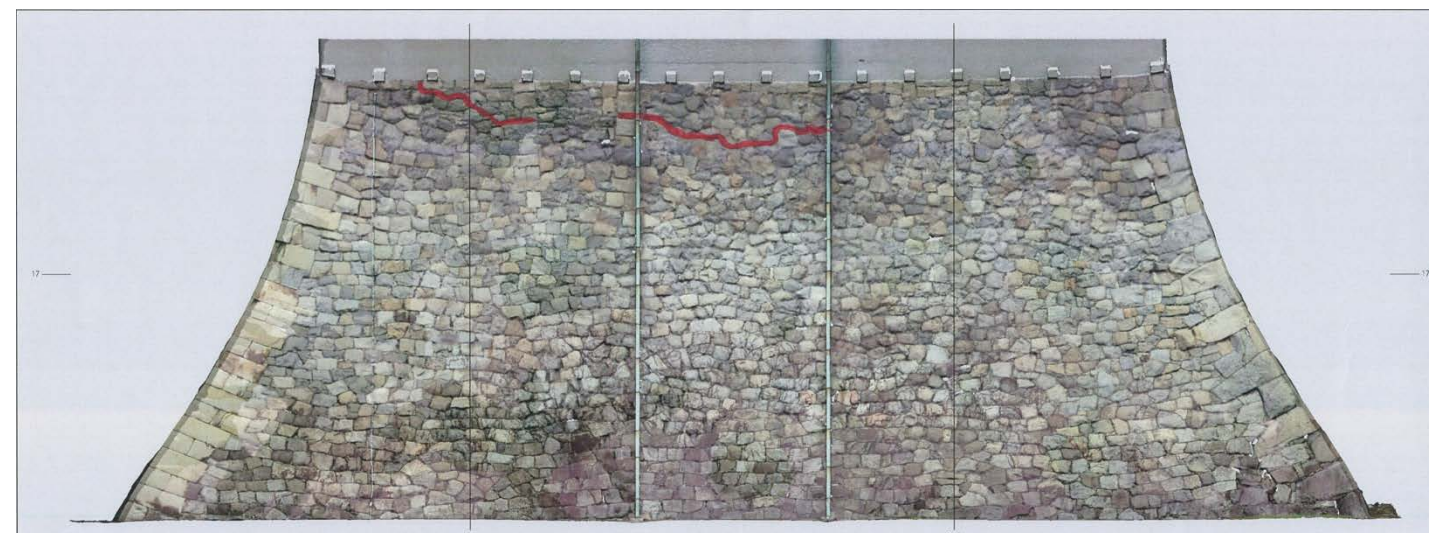
名古屋市『名古屋城天守台石垣健全性評価報告書』平成24年3月 の添付図画像に竹中工務店が石目のラインを加筆



大天守 東面



大天守 南面



大天守 西面

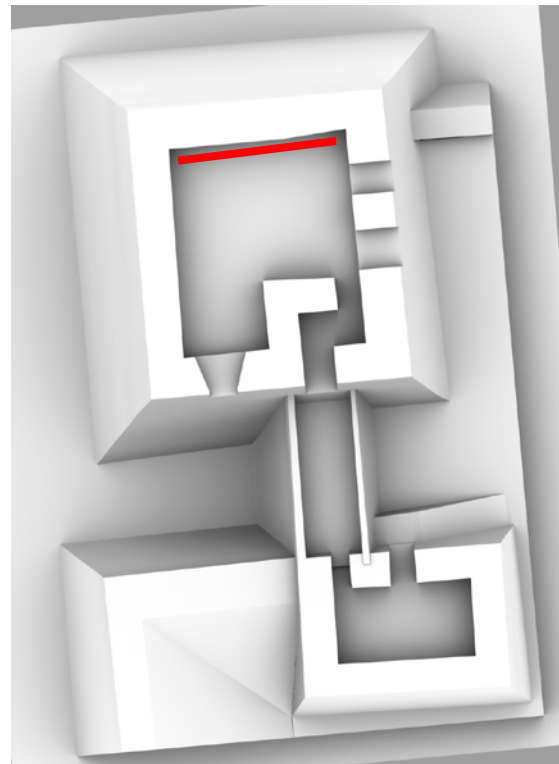
1-1 天守台石垣の検証

(1) 名古屋城天守台石垣の変遷について

8 石垣の変遷

写真により変遷が確認できる場所

①大天守台 穴蔵の内側の石垣 北面



1	江戸	創建時 慶長15年(1610)	～	宝暦の大修理
2	江戸	宝暦の大修理 宝暦2年(1752)	～	幕末
3	明治 ～昭和	明治・大正・昭和	～	戦災による焼失前
4	昭和	戦災による焼失 昭和20年(1945)	～	石垣積換工事前
5	昭和	石垣積換工事着手 昭和27年(1952)	～	天守閣再建工事着手前
6	昭和	天守閣再建工事着手 昭和32年(1957)	～	天守閣再建工事竣工
7	昭和 ～平成	天守閣再建工事竣工 昭和34年(1959)	～	現在

■大天守：内側北面

昭和30年頃 焼失直後の状態



「昭和三十一年三月竣工 名古屋城天守閣跡 石垣積替工事写真帖」  
名古屋城管理事務所

「北正面 工事前」

時系列

昭和31年頃 積換工事中の状態



「昭和三十一年三月竣工 名古屋城天守閣跡 石垣積替工事写真帖」  
名古屋城管理事務所

「北面隅取毀石積 工事中」

時系列

昭和31年頃 積換工事後の状態



「昭和三十一年三月竣工 名古屋城天守閣跡 石垣積替工事写真帖」  
名古屋城管理事務所

「東正面南寄 舗装前」(実際の撮影対象は北面の東寄)

時系列

昭和33年2月 天守再建工事中的状態



『名古屋城再建』p.45 昭和33年2月11日の記事  
北側と東側明り取り窓までの石垣が大きく崩されている。

時系列

